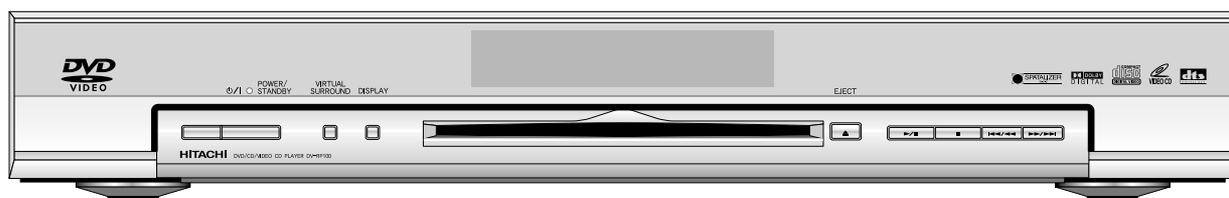
HITACHI

日立DVDプレーヤー

形名

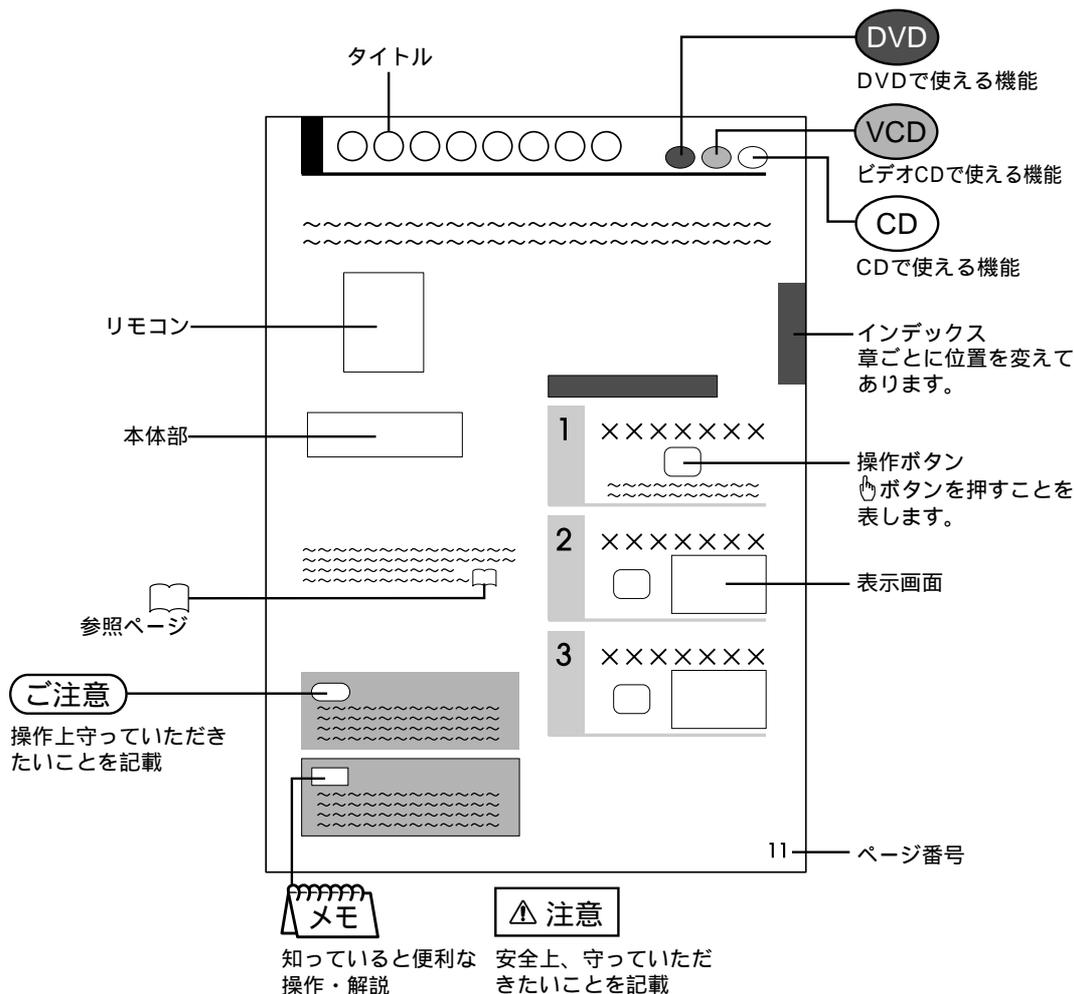
DV-RP100

取扱説明書

このたびは日立DVDプレーヤーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

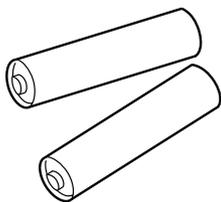
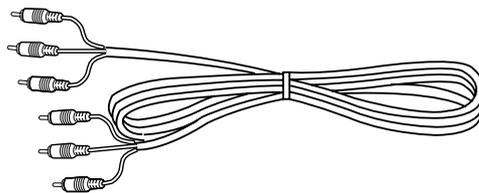
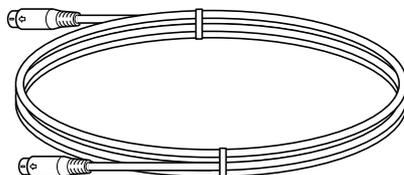
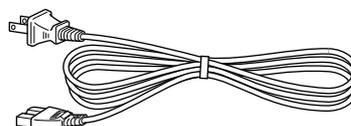
最初に **本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用の前によくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。**
お読みになったあとは、「保証書」と一緒に保管してください。

●業務用には対応していません。

本書の見かた

この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください。(ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です。)

付属品をご確認ください

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

リモコン

単3形乾電池…2個

AVコード

Sコード

電源コード

特 長

DVD-RAMディスク（8cm/12cm）再生対応

ビデオレコーディング規格（バージョン1.1）準拠のDVDビデオカメラ、DVDビデオレコーダーで記録したDVD-RAMディスクの再生が可能です（2001年6月現在）。

高画質映像出力に対応するD1端子の装備

ドルビーデジタル5.1chデコーダー搭載

CD-R/RW再生が楽しめる2レーザーピックアップ機能搭載

見たいシーンを簡単に検索できるディスクナビゲーション機能搭載

すばやい検索が可能な最大6倍速ドライブ（DVD）の採用

2系統（光・同軸）デジタル音声出力端子の装備

ドルビーデジタル/DTSデジタル音声出力対応

ご注意 **DVD再生時の操作上のご注意**

本機はDVDの規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによってアングルや字幕が1種類しか入っていないため、アングルや字幕の切り換えができないなど本書の記載通りに動作しないものもあります。本書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。

メモ

DVDは12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えたり、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

もくじ

はじめに

準　　備

見る・聞く

設　　定

ご参考

安全上のご注意

ご使用の前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

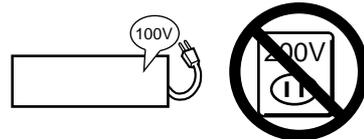
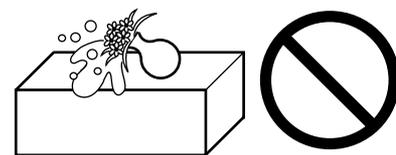
〈絵表示の例〉

△記号は警告（注意）を促すことです。（この例は「感電注意」）

⃠記号は行為を禁止することです。（この例は「分解禁止」）

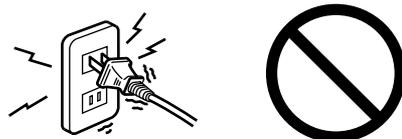
●記号は行為を強制することです。（この例は「電源プラグをコンセントから抜く」）

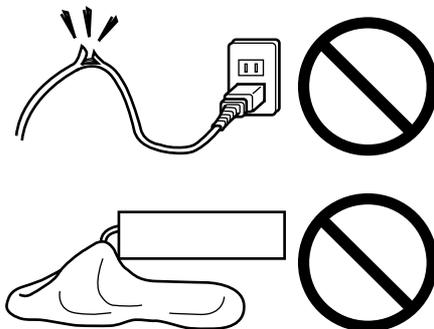
⚠ 警告

不安定な場所に置かない	● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない	● 表示された交流１００ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。	
水にぬらさない	● 水場では本機を使用しないでください。 ● 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。 ● 万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	水ぬれ禁止 電源プラグをコンセントから抜く
風呂場では使用しない	● 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	水場での使用禁止
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない	● 本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。	

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電源プラグが不完全な接続のまま使わない！
たこ足配線をしない！

- ショートや発熱により、火災や感電につながります。
- 最後までしっかりと正しく接続してください。

電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードを加工しない

電源コードが傷んだら交換する

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを
コンセントから抜く

改造しない
カバーを開けない

- 本機を改造すると火災・感電の原因となります。
- 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

異常なときは使わない

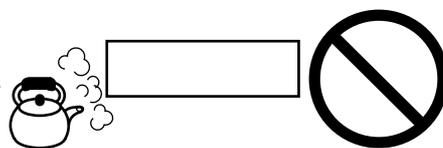
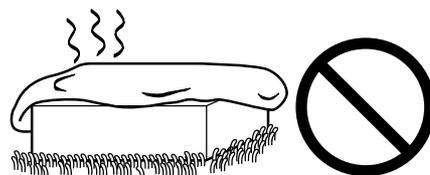
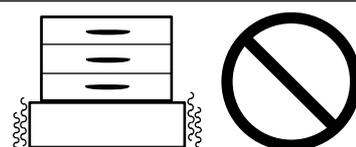
- 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグを
コンセントから抜く

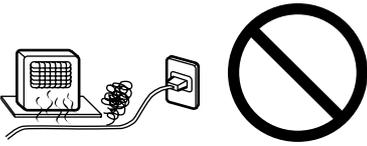
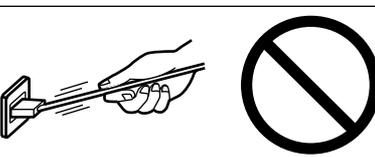
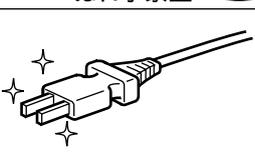
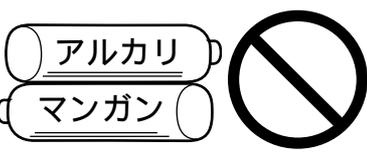
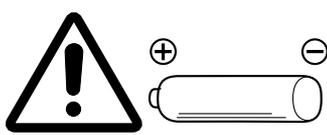
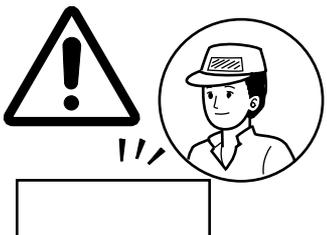
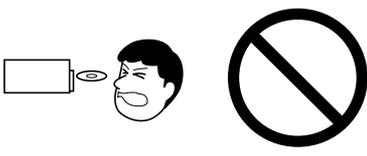
⚠ 警告

雷が鳴るときは電源プラグには触れない	● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。	接触禁止
防じんキャップに注意する	● 光デジタル音声出力端子に取り付けてある防じんキャップを取り外した場合は、お子様が防じんキャップを誤って飲むことがないようにしてください。 ● 防じんキャップは幼児の手の届かない所へ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	

⚠ 注意

油煙や湯気が当たる場所に置かない	● 火災・感電の原因となることがあります。	
湿気やほこりの多い場所に置かない	● 調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
移動させるときは注意を！	● 移動させるときは、取出しボタンを押して必ずディスクを取り出してから電源プラグをコンセントから抜き、テレビなどとの接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	電源プラグをコンセントから抜く
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない	● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	
通風孔をふさがない	● 本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。	
本機の上に乗らない	● 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	
本機の上に重い物を置かない	● 本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグのゴミやホコリにご注意！	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、乾いた布で拭きいつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	電源プラグをコンセントから抜く
機器で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	アルカリ マンガン
乾電池は機器の指示どおり正しく入れる	●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください。まちがえますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	⊕ ⊖
長時間ご使用にならないときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。	電源プラグをコンセントから抜く
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	
ディスクを取り出すとき	●ディスクを取り出すとき、取出しボタンまたはEJECTボタンを押すとディスクがそのまま出てきますので、ディスクの挿入口をのぞきこまないでください。けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	

使用上のご注意

お手入れについて	●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害（機会損失による補償など）は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを閉めたままリモコンの取出しボタンを押して、ディスクを取り出さないでください。強い力でディスクの動きが妨げられると、故障の原因になります。
再生中は本機を絶対に動かさない	●再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。
結露について	●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

使用上のご注意（つづき）

その他の注意	●本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ ブー ”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。 ●ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。 ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。 ●テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。 ●静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。 ●ディスクの挿入口から、紙などの異物を入れないでください。異物が取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
本機を移動させるときの注意	●以下の手順にしたがって電源を切り、確認のうえ本機を移動させてください。間違った操作をおこなうと故障の原因となることがあります。 ①ディスクを取り出す ②電源ボタンまたはPOWER/STANDBYボタンを押し、電源を切る ③電源プラグをコンセントから抜く

ディスクについて

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
下記以外のディスクは使用できません。

ディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		再生時間
DVD	DVD		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/片面	1層	約133分 4.7GB
		2層	約242分 8.5GB
	12cm/両面	1層	約266分 9.4GB
		2層	約484分 17GB
	DVD		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/片面	1層	約41分
		2層	約75分
	8cm/両面	1層	約82分
		2層	約150分
ビデオCD	ビデオ CD 12cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 最大74分
	ビデオ CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 最大20分
CD	CD 12cm/片面		デジタル音声 最大74分
	CDシングル 8cm/片面		デジタル音声 最大20分

- 上の表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
- 本機は上記のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因になります。
- DVDの再生時間は、平均記録レートが4.7Mbpsの場合です。

■ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとは、Playback Control（プレイバック コントロール）の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン1.1）	音声用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

ご注意

- リージョンコードが日本地域番号である「2」を含んでいないDVDは再生できません。

■8cmディスクを再生する

8cmディスクはそのままアダプターなしでご使用できますが、取り出しにくいときは、市販の12cm変換アダプターをご使用ください。

■CD-Rディスクを再生する

ディスクによっては、本機で再生できないものがあります。

■CD-RWディスクを再生する

ディスクによっては本機で再生できないものがあります。CD-RWディスクはファイナライズしてあるものをご使用ください。

■DVD-RAMディスクを再生する

日立のDVDカメラで録画したディスクを再生することができます。
ふつうのDVDディスクと同じ操作をしてください。

著作権についてのご注意

- ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。
  したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売・譲渡・配布・リース、また店舗などでBGMとして流すことも禁止されています。

ご注意

- CD-DAのフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスク以外は使用できません。

ディスクの取り扱い

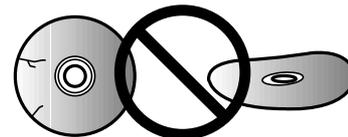
■次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。

■保管

●ディスクはプラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので置かないでください。
ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

■ディスクの扱いかた

●**ディスクの表面にさわらないでください。また、裸のまま放置しないでください。指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下したり、正しく再生できないことがあります。**
特にDVD-RAMディスクの取り扱いには注意してください。下図の「ディスクの持ちかた」を参考に、記録面に指紋がつかないようにしてください。
●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、そのあと乾いた布で水気を拭きとってください。
●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ディスクにセロハンテープやレンタルのラベルなどのノリがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

柔らかい布で内周から
外周方向へ軽く拭く

■ディスクのセットについて

●本機はディスク挿入口にディスクを軽く入れますと、自動的に本機内へ挿入を行います。自動挿入ができない場合は、一度ディスクを取り出し、再度挿入してください。

■レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、保証とアフターサービス57をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

■ディスクの持ちかた

両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持つ。

片手で持つ場合

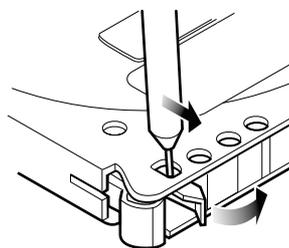
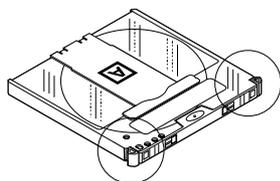
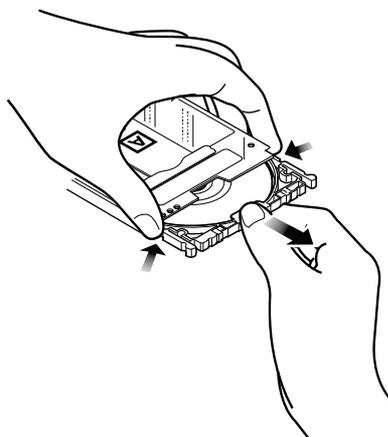
中央の穴と外周部に指をかけて持つ。

■8cmDVD-RAMディスクの扱いかた

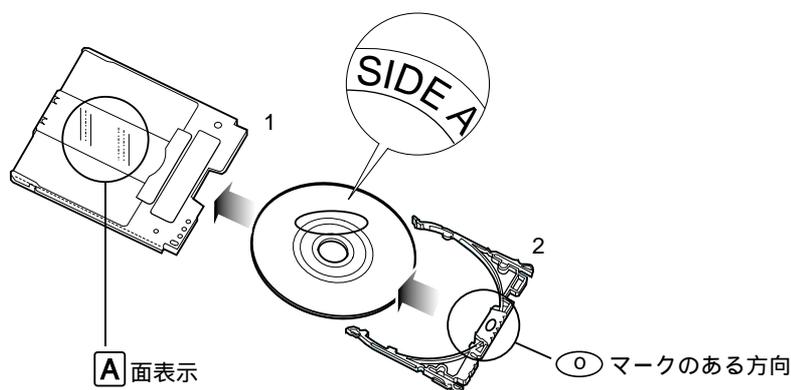
● 8cmDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出してください。

ディスクの取り出しかた

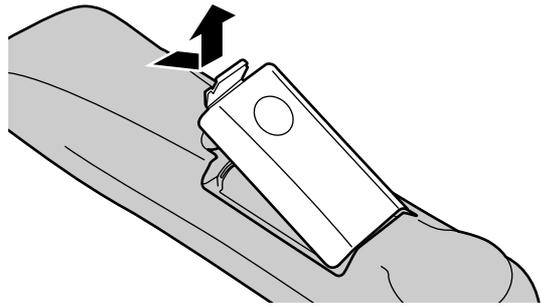
1 カートリッジのロックピンを外す

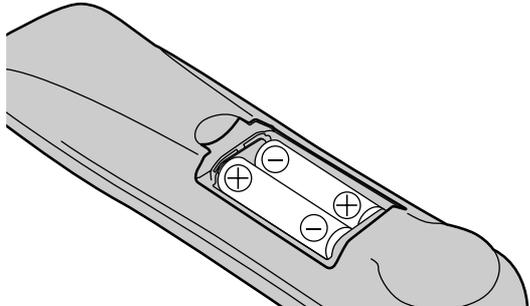
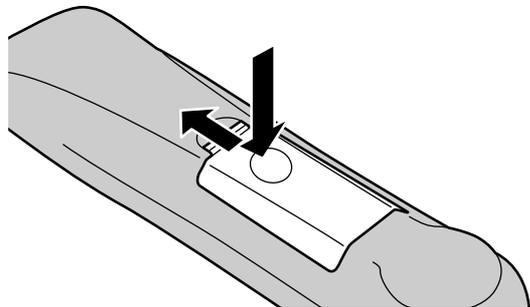
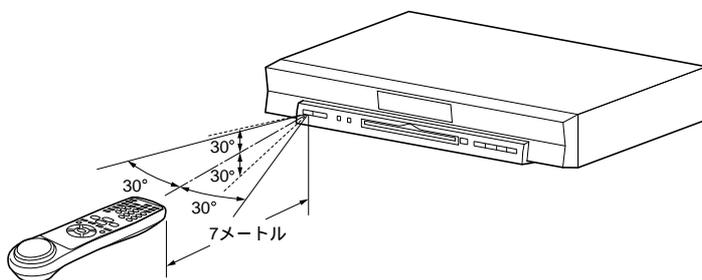
●ロックピンは、SIDE A、SIDE Bの左下にそれぞれ1個ずつあります。
●先の細いペンなどで、図の矢印①の方向へスライドさせ、矢印②の方向へ回転させて折ります。

2 解除レバーを両側から内側へ向けて押しながら、ディスクトレイの中央部をつまんで手前に引き出す

ディスクの入れかた

1 ディスクをカートリッジに挿入する

2 ディスクトレイを「カチッ」と音がするまではめ込む

リモコンの取り扱い

乾電池の入れかた

1 つまみを押しながら、ふたを開ける

2 乾電池（単3形）を入れる

●付属の単3形乾電池を ⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3 ふたを閉じる

リモコンの取り扱い

●リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約7メートル、上下左右30度の範囲内でお使いください。

ご注意 リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンでの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなることがあります。光が直接当たらないようにご注意ください。

⚠注意 乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
●乾電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと乾電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

各部の名称

正　面

<表示窓>
本機の状態を表示 20
しおり再生表示 25
本機の再生状態を表示 22 33 34 37
再生中の音声信号を表示 20
CD
VCD
DVD
TITLE
TRACK
CHAPTER
A B PBC SR
RANDOM ANGLE
PROGRAM
LAST TOTAL
REMAIN
LPCM dts
MPEG Audio
Dolby Digital
kHz
bit
H
M
S
ディスクの経過時間、残り時間を表示 20
選択・再生中のトラック・チャプター表示 20
選択・再生中のタイトル表示 20
ディスク表示 20

STANDBYインジケーター 20
表示窓
►/II (PLAY/PAUSE)ボタン 20
リモコン受光部 14
POWER/STANDBY ボタン 20
VIRTUAL SURROUNDボタン 43
DISPLAYボタン 41
ディスク挿入口 20
EJECTボタン 21
■(STOP)ボタン 21
►►/►►I (SKIP)ボタン 22
I◄◄/◄◄ (SKIP)ボタン 22

各部の名称(つづき)

後　面

リモコン

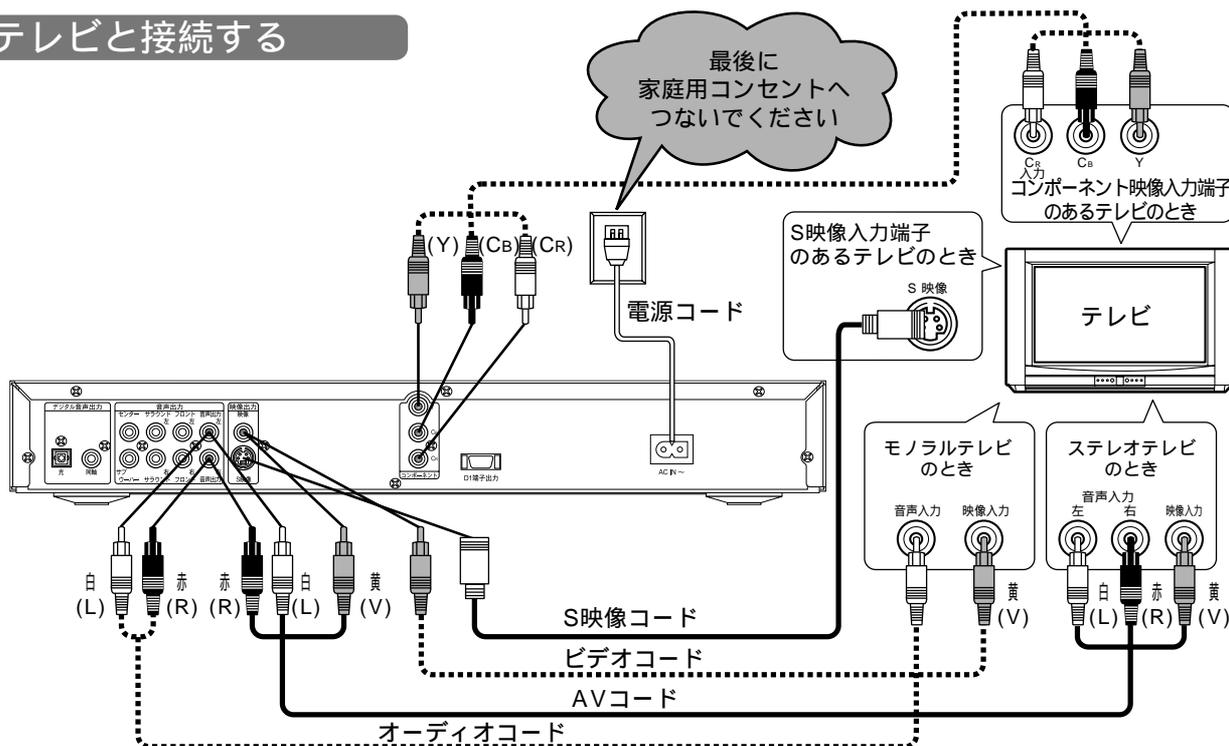
電源ボタン 20
字幕ボタン 38
アングルボタン 37
ダイレクトサーチボタン 29
ズームボタン 36
トップメニューボタン 27
メニューボタン 26
リターンボタン 26
しおり再生ボタン 25
再生/一時停止ボタン 20
スキップボタン 22
再生スピードボタン 24
ディスクナビゲーションボタン 28
カーソルボタン 26
シャトルリング 24

画面表示ボタン 41
取出しボタン 21
音声ボタン 39
サラウンドボタン 43
A-Bリピートボタン 32
映像調整ボタン 49
数字ボタン 26
取消しボタン 30
スキップボタン 22
停止ボタン 21
コマ送りボタン 23
セットアップボタン 32
決定ボタン 26
ジョグダイヤル 23

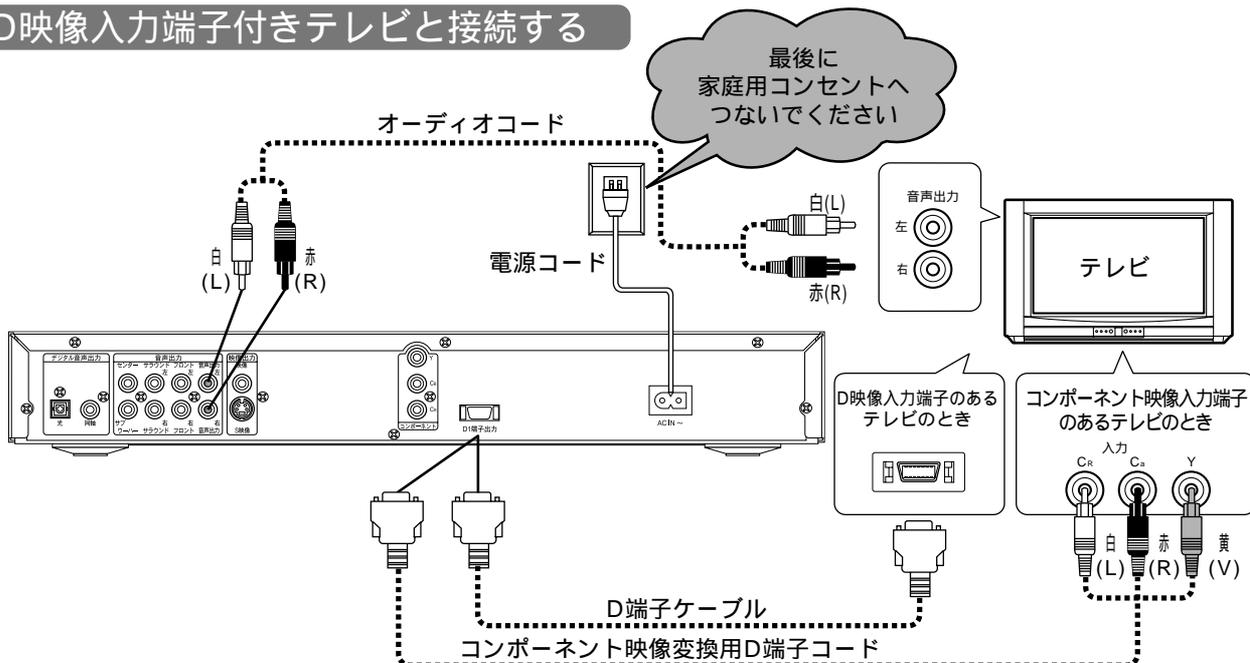
電源
画面表示
取出し
アングル
字幕
音声
サラウンド
ダイレクトサーチ
ズーム
映像調整
A−Bリピート
トップメニュー
メニュー
しおり再生
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
取消し
再生/一時停止
停止
再生スピード − +
コマ送り
ディスクナビゲーション
セットアップ
決定
DVD VIDEO
HITACHI
DV-RM700J
戻し
送り

他の機器と接続する

ご注意
- 他の機器と組み合わせてご使用になるときには、それぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続するときは、各機器の電源を切ってから行ってください。

テレビと接続する

- 「リモコンの取り扱い」もご覧ください。13
- モノラルテレビと接続する場合は、セットアップ画面で音声出力を「2ch」に設定してください。

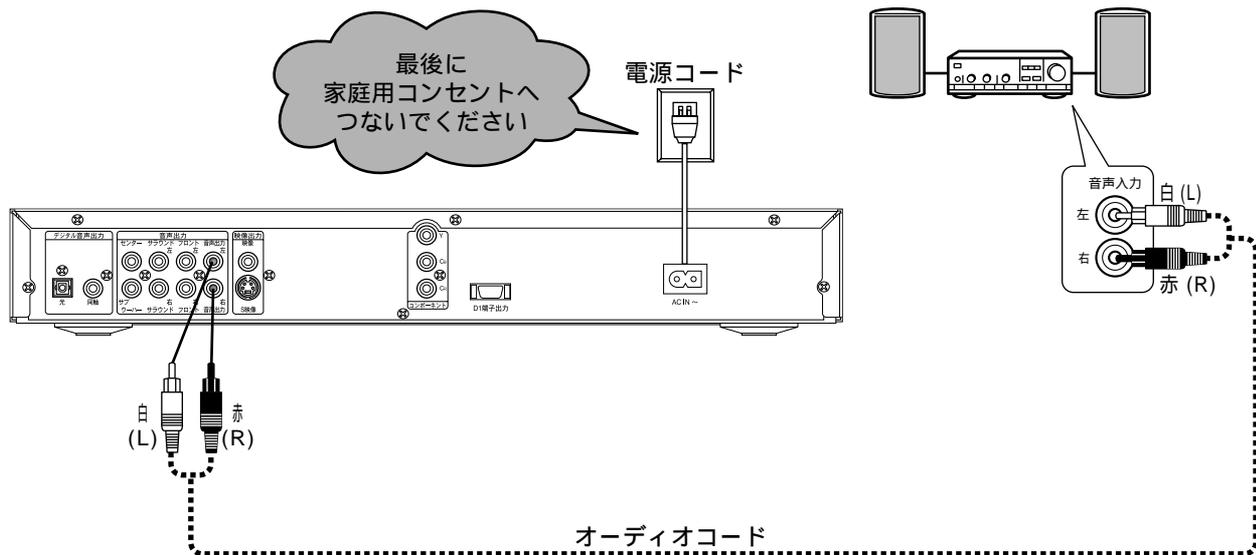
実線は付属のコードです
点線は市販のコードをご使用ください。

D映像入力端子付きテレビと接続する

市販のコードをご使用ください。

メモ
- 本機のD１端子出力とテレビをD端子ケーブルまたはコンポーネント映像変換用D端子コードで接続することにより、クロスカラーや色にじみの少ない高画質映像が映し出されます。

ご注意
- D１端子出力からは映像信号のみ出力されます。オーディオコードはかならず音声出力端子に接続してください。
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 画像によってはノイズが強調されたり、画質が劣化して見えたり、サーチ画が乱れたりする場合があります。このようなときは、テレビをS入力やビデオ入力に切り換えてご覧ください。
- 画像の明るさ、色の濃さ、色相等はテレビで調整してください。

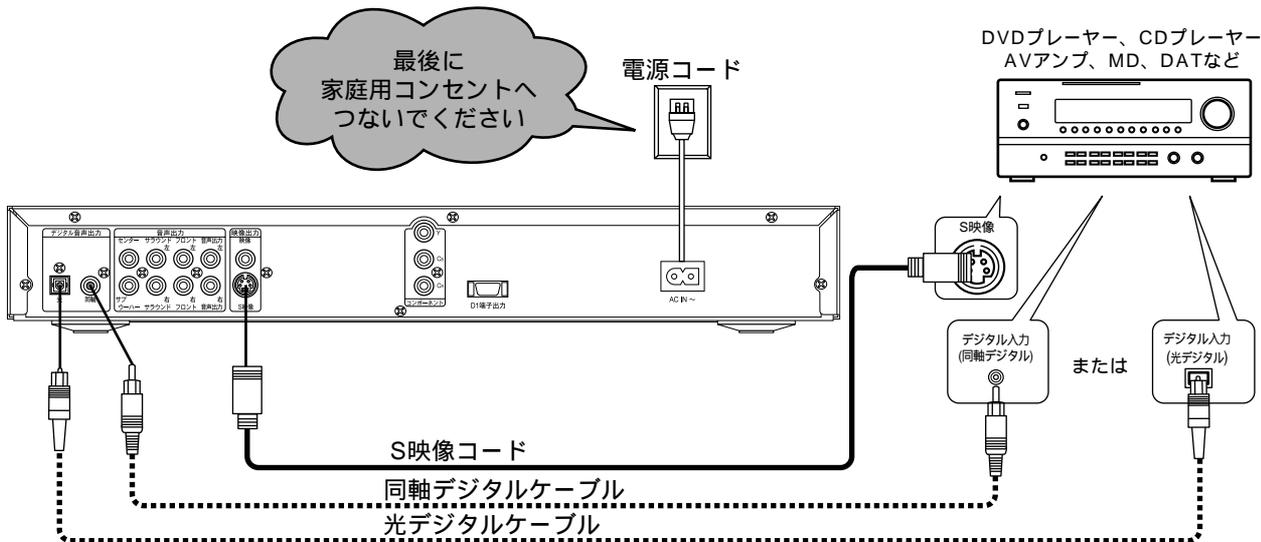
他の機器と接続する（つづき）

ステレオと接続する

市販のコードをご使用ください。

■ドルビープロロジック・デコーダー（内蔵アンプ）と接続する

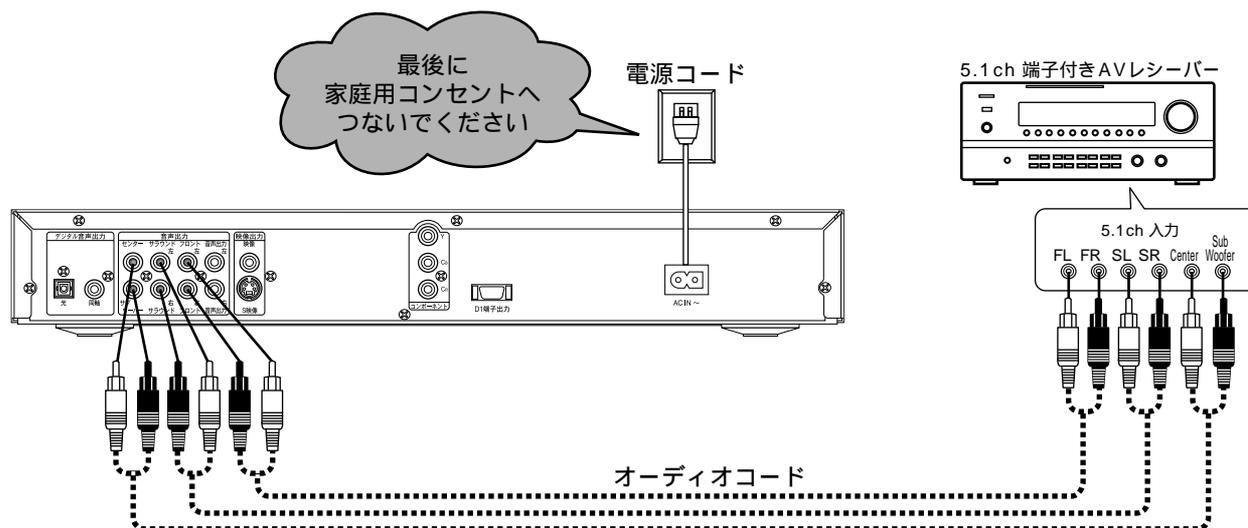
ステレオがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。ドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには、ステレオの取扱説明書に従ってドルビープロロジック・サラウンドが聞けるように設定してください。

メモ
- ●96kHz、24bitなどの高品位オーディオが記録されているDVDを再生する場合は、デジタル出力の設定をオフにすることをおすすめします。48

デジタル端子付き機器と接続する

- ●ドルビーデジタル入力端子のあるアンプと接続することによって、ドルビーデジタルサラウンドでお楽しみいただけます。
- ●光デジタルケーブルの端子を抜き差しするときは、ツメにひっかからないようにご注意ください。故障の原因になります。

実線は付属のコードです
点線は市販のコードをご使用ください。

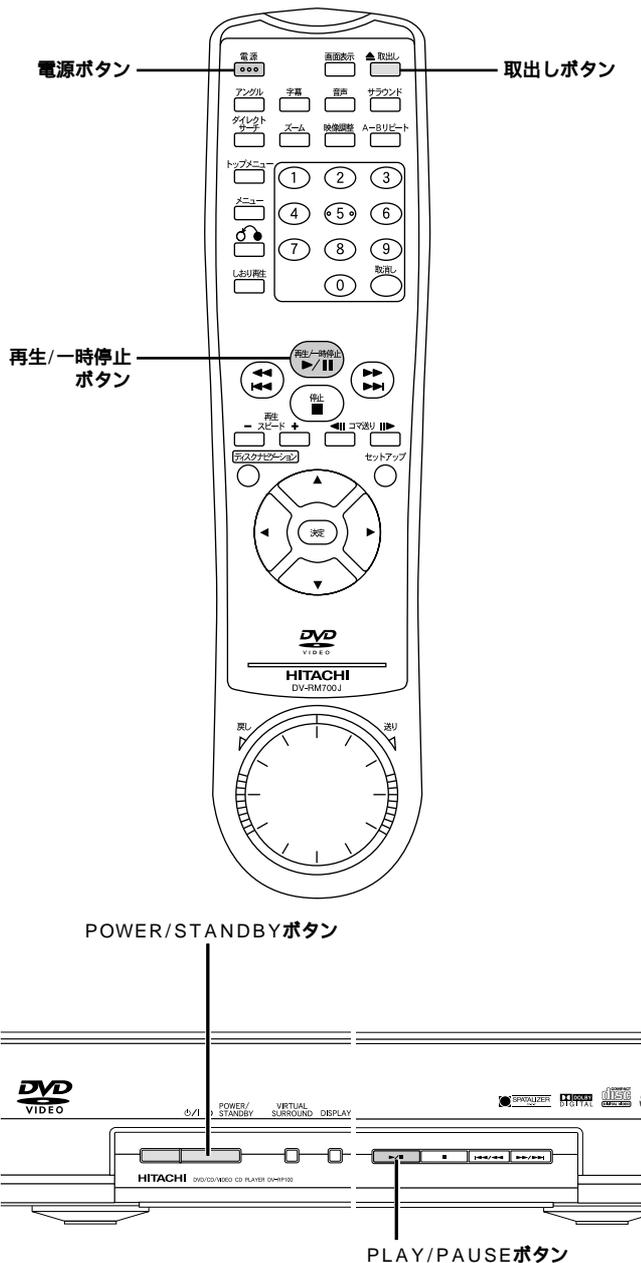
ご注意
- ●DTS信号は本機のデジタル出力端子（同軸デジタル/光デジタル）からのみ出力します。
- ●光デジタル出力端子にケーブルを接続するときは、シャッターをそのまま押し込むようにしてください。

アナログ端子付き機器と接続する

ご注意 ●MIXED 音声出力端子は2chオーディオを出力します。

「DTS」および「DTS DIGITAL OUT」は米国デジタルシアターシステムズ社の商標です。

●市販のコードをご使用ください。
●ドルビーデジタルサラウンドはAVレシーバーの5.1ch端子に接続することでお楽しみいただけます。
サブウーハースピーカーをお持ちの方は、セットアップ画面で「5.1ch sub W.オン」を設定してください。
サブウーハースピーカーをお持ちでない方は、「5.1ch sub W.オフ」に設定してください。49

準備

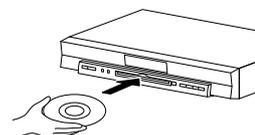
再生する

DVD VCD CD

電源プラグをコンセントに差し込むとセット前面のSTANDBYインジケーターが赤く点灯します。

1 電源ボタンまたはPOWER/STANDBYボタンを押す

- セット前面のPOWER/STANDBYインジケーターが緑色に点灯します。表示窓には「no disc」と表示されます。

2 ディスクを入れる

- レーベル面を上にし、ディスクを挿入します。
- 表示窓にDVD、VCD、CDのうち、どれかひとつが点灯するまでは、次の操作を行わないでください。

3 再生/一時停止ボタンまたはPLAY/PAUSEボタンを押す

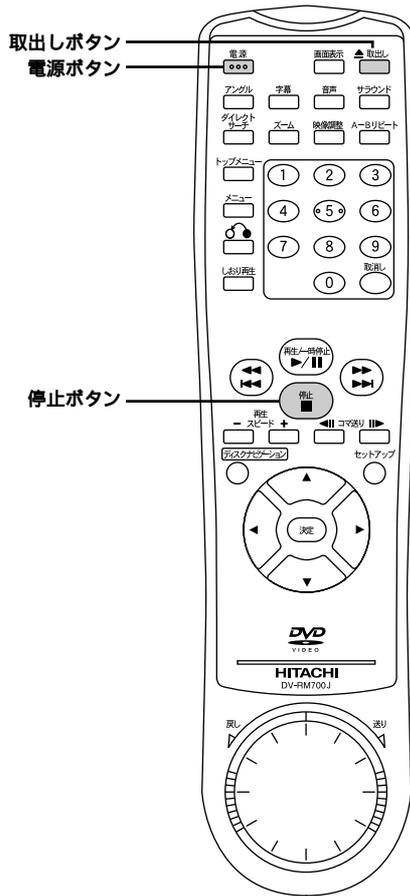
- 再生を開始します。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。25

メモ

- ディスクを入れると、ディスクの種類の確認とディスクごとに最適な制御をするための学習動作をします。この間（約15秒）、表示窓にDVD、VCD、CDが同時に点灯します。確認と学習が終わるとDVD、VCD、CDの内のひとつが点灯します。

ご注意

- STANDBYインジケーターが赤色に点灯しているときは、ディスクは挿入できません。電源ボタンを押してインジケーターが緑色になり、表示窓に「no disc」と表示されてからディスクを挿入してください。すでにディスクが挿入されてある場合は「no disc」と表示せず、ディスクの認識をします。別のディスクを再生したい場合は、取出しボタンでディスクを取り出したあとで別のディスクを挿入してください。
- 本機はディスク挿入口にディスクを軽く入れますと、自動的に本機内へ挿入を行います。自動挿入ができない場合は、一度ディスクを取り出し、再度挿入してください。

操作を終了する

1 停止ボタンを押す

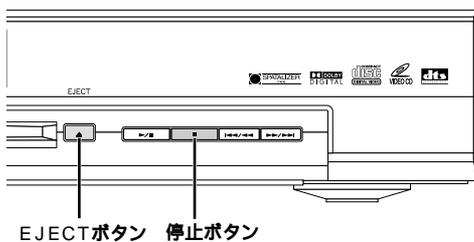
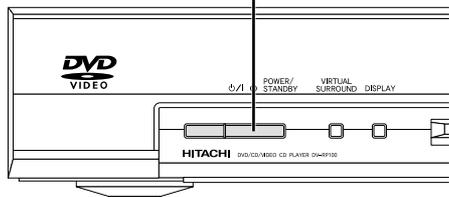
● 再生を終了します。

2 取出しボタンまたはEJECTボタンを押す

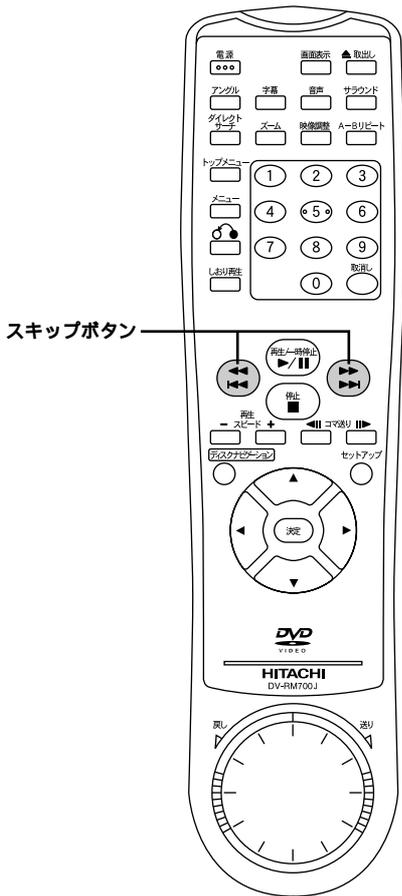
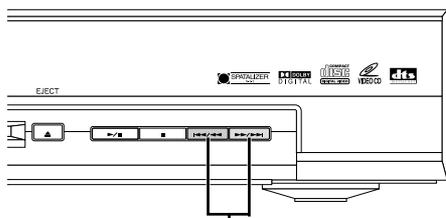
● ディスクが出てきます。

3 ディスクを取る

4 電源ボタンまたはPOWER/STANDBYボタンを押す

● 電源が切れます。セット前面のPOWER/STANDBYインジケーターが赤色に点灯します。

● 停止状態が約30分間つづくと、自動的に電源が切れてスタンバイ状態になります。

チャプター/トラックを進める・戻す

ディスクを再生中に次のチャプター/トラックへ進ませたり、前のチャプター/トラックへ戻したりすることができます。

スキップボタン

スキップボタン

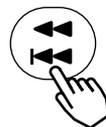
次のチャプター/トラックへ進める

スキップ▶▶/▶▶|ボタンを押す

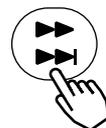
- ボタンを押すごとに次のチャプター/トラックに進みます。

前のチャプター/トラックへ戻す

スキップ|◀◀/◀◀ボタンを押す

- １度押すと再生しているチャプター/トラックの初めに戻ります。さらに押すと前のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

早送りをする

スキップ▶▶/▶▶|ボタンを押しつづける

- DVD、ビデオCDは2倍速、CDは20倍速で早送りされます。
- 見たい場面でボタンを離すと、つづきを再生します。

早戻しをする

スキップ|◀◀/◀◀ボタンを押しつづける

- DVD、ビデオCDは2倍速、CDは20倍速で早戻しされます。
- 見たい場面でボタンを離すと、つづきを再生します。

■タイトル/チャプター/トラックについて
DVDは、ディスクの内容をタイトルでわけ、さらにタイトルの中をチャプターでわけています。ビデオCD、CDでは、ディスクの内容をトラックでわけています。

DVD

ディスク
タイトル 1 / タイトル 2
チャプター 1　チャプター 2　チャプター 1　チャプター 2

CD, ビデオCD

ディスク
トラック 1　トラック 2　トラック 3　トラック 4　トラック 5

メモ

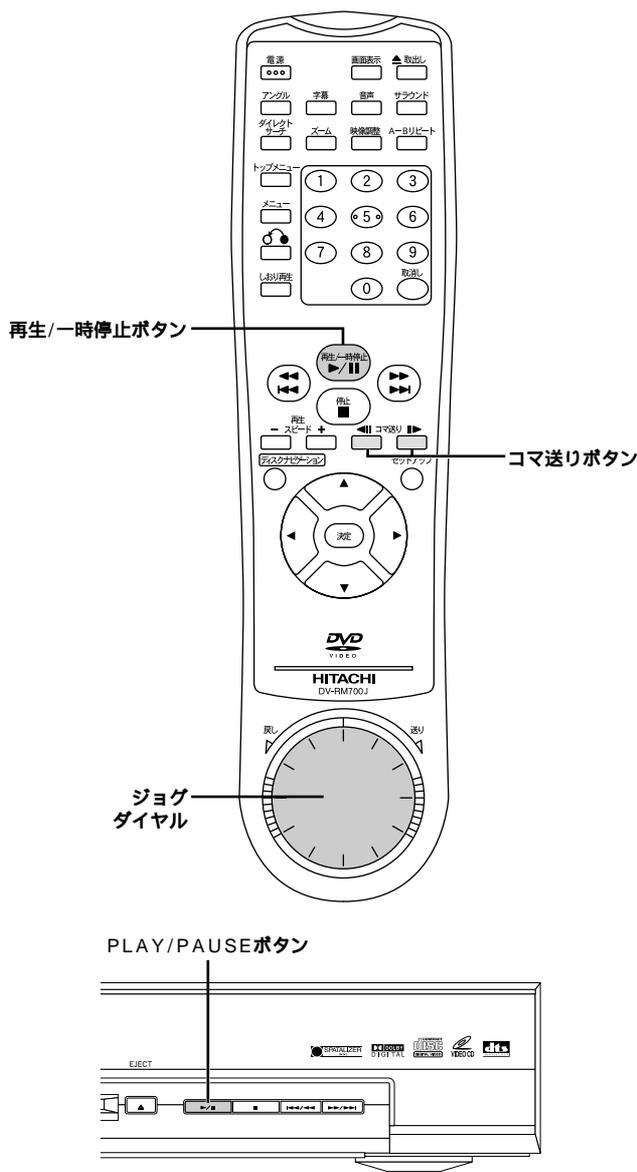
- 再生中にスキップなどの操作をすると、画面にT：2、C：5などと表示されます。Tはタイトルまたはトラック、Cはチャプターを表します。数字は再生しているタイトル、トラック、チャプターの番号です。

ご注意

- DVDの場合、これらの操作をタイトル間をまたがって操作することはできません。また、ディスクによってはチャプター間をまたがっての操作もできない場合があります。
- ビデオCDの場合、PBC（プレイバックコントロール）*がオフのときに、▶▶|、|◀◀（スキップ）ボタンでトラックを進めたり戻したりすることができます。PBCがオンのときは、PBCに従った操作をします。

＊ビデオCD（バージョン2.0）に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。49

静止画/コマ送りにする

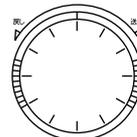
ディスクを再生中に映像を止めて見たり（静止画）、１コマずつ見たり（コマ送り）することができます。

静止画再生(映像を止めて見る）

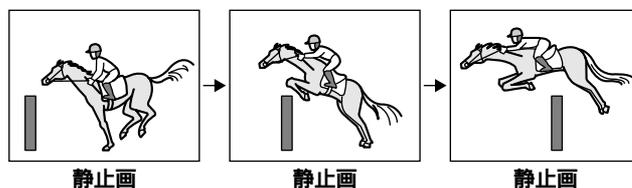
再生/一時停止ボタンまたは PLAY/PAUSEボタンを押す

- 映像が静止画になり、表示窓に ▌▌（ポーズ）マークが点灯します。
- コマ送り ▌▌▶ ボタンを押しても一時停止します。

コマ送り再生（映像を１コマずつ見る）

ジョグダイヤルを回す

- 右方向に回すと、映像が１コマずつ進みます。
- 左方向に回すと、約0.5秒前のコマに戻ります。

コマ送りボタンを押す

- ▌▌▶ を押すと映像が1コマずつ進み、◀▌▌ を押すと約0.5秒前のコマに戻ります。

普通の再生に戻す

再生/一時停止ボタンまたは PLAY/PAUSEボタンを押す

- 再生を再び始めます。

メモ

- 静止画再生中は、音声が聞こえません。
- スクリーンセーバーをオンに設定してあるときに静止画再生のままにしておくと、スクリーンセーバーの画面に変わります。いずれかの操作ボタンを押すと静止画に戻ります。
- DVDの静止画再生中に画面が揺れることがあります。この場合、セットアップ画面の一時停止画像の設定をフリッカーレスにしてください。
- 一時停止が約20分間つづくと、自動的に停止状態になります。
- CD再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止状態になります。

ご注意

- コマ送り、戻しのコマの間隔は、ばらつくことがあります。
- ディスクによって、一時停止ができないものがあります。その場合は ⃠ マークが画面に表示されます。

再生スピードを変える

簡単に再生のスピードを変えることができます。

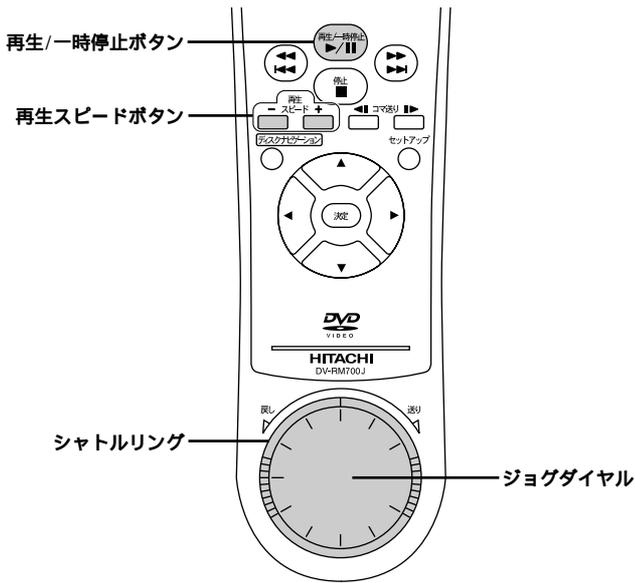
テレビの画面を見ながら、リモコンで操作する

静止画再生中、または再生中に再生スピード（＋/－）ボタンを押す

再生
－ スピード ＋

- ボタンを押すごとに、再生スピードが変わります。

普通の再生に戻す

再生/一時停止ボタンかPLAY/PAUSEボタンを押す

ジョグダイヤルで操作する

1 **再生中に再生/一時停止ボタンまたはPLAY/PAUSEボタンを押す**

- 映像が静止画になります。

2 **ジョグダイヤルを回す**

左方向（逆転再生）
右方向

- 逆転スロー再生はできません。
- ＣＤでは操作できません。

シャトルリングで操作する

静止画再生中、または再生中にシャトルリングを回す

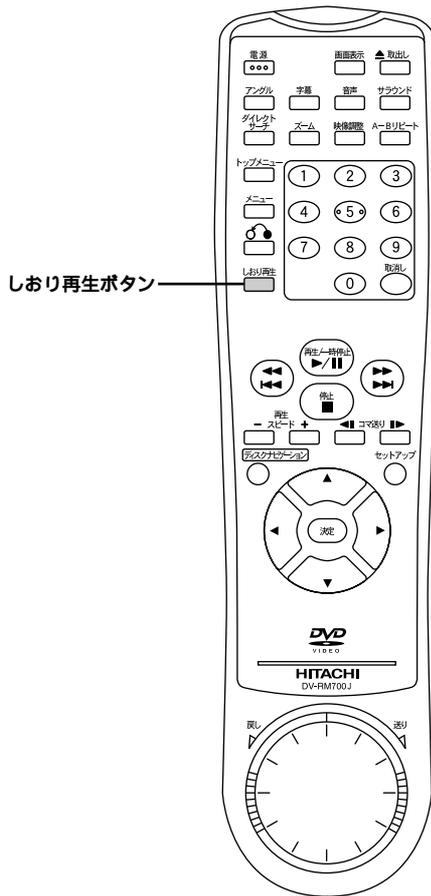
- 120倍速まで早送り、早戻しをすることができます。

- シャトルリングを操作したあとは、静止画になります。つづけて見るときは再生/一時停止ボタンを押します。

メモ

- 音声が正常に聞こえるのは、ノーマル再生のときだけです。
- DVDとビデオCDの早戻しおよび10倍速以上の早送りはとびとびの映像になります。
- ノーマル再生以外の再生速度は目安です。

つづきから見る(しおり再生)

再生中記憶した位置から、つづきを再生することができます。

記憶させる

しおり再生ボタンを押す

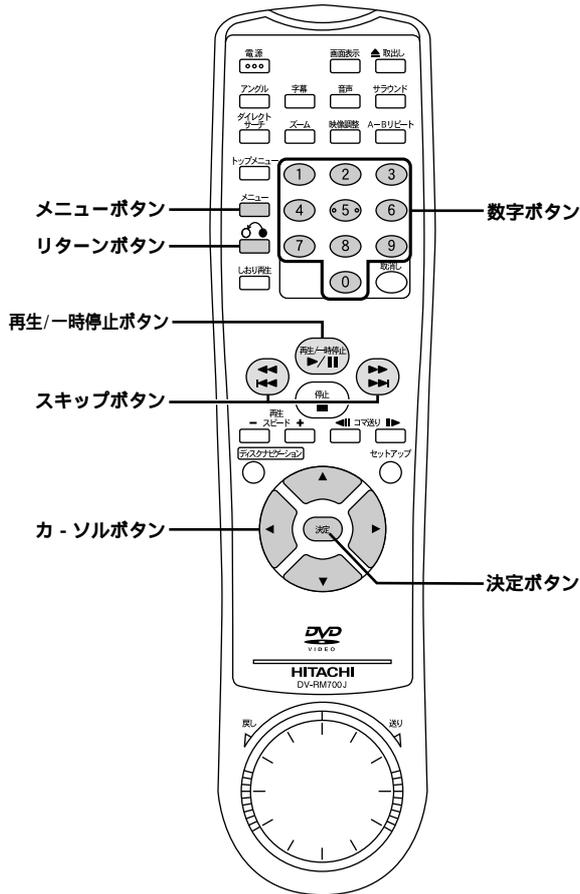
- ディスクを再生中にボタンを押してください。押した位置を自動的に記憶します。
- ディスクを取り出したり、電源を切ると押した位置の記憶は消えてしまいます。

つづきから見る

しおり再生ボタンを押す

- ディスクを停止中にボタンを押してください。
- 表示窓に「LAST」が点灯しているときに押してください。前回しおり再生位置を記憶してあるところから再生が始まります。

ディスクのメニュー画面から再生する

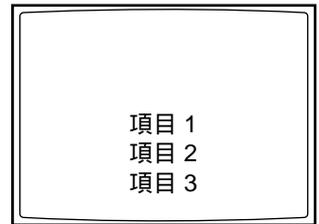
DVD・ビデオCDは、ディスクによってメニュー画面を備えたものがあります。メニュー画面から再生したい項目、表示したい字幕言語、聞きたい音声言語などが選べます。

DVDのとき

1 メニューボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面はディスクによって異なります。

2 ◀▲▼▶ボタンで項目を選ぶ

- ディスクによっては、リモコンの数字ボタンで選べるものもあります。

項目 1
項目 2
項目 3

3 決定ボタンを押す

- 項目が決定します。

メモ

- ディスクによっては、再生/一時停止ボタンを押して表示させるものもあります。
- ディスクによっては、メニュー画面がなくトップメニュー画面のみ備えている場合があります。
- メニューボタンを押しても、メニュー画面が出ないときはトップメニューボタンを押してください。
- ディスクによっては、メニュー画面もトップメニュー画面もない場合があります。

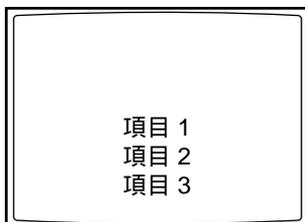
PBC対応のビデオCDのとき

1 PBC対応のビデオCDを再生する

- メニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンで項目を選ぶ

- 数字ボタンを押すと、項目の番号が画面に表示され決定します。
- ディスクによっては、再生/一時停止ボタン、▶▶I,I◀◀ (スキップ)ボタン、 (リターン)ボタンで操作できるものもあります。

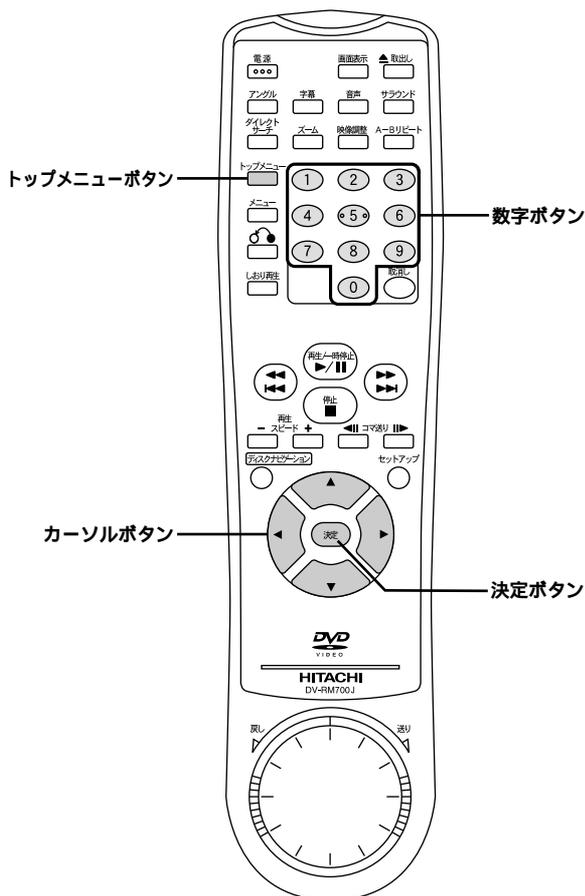
項目 1
項目 2
項目 3

3 数字ボタンを押しても、再生を開始しないときは、決定ボタンを押す

- 再生が始まります。
- メニュー画面または、前のメニュー画面に戻るには、 (リターン)ボタンを押してください。
- ディスクによっては、 ▶▶I,I◀◀ (スキップ)ボタンで切り換えます。

メモ

- PBC対応ビデオＣＤは、表示窓にPBCと表示されます。
- PBC機能を使わないで再生するときは、メニューボタンを押します。表示窓のＰＢＣは消えます。このとき、メニュー画面などは再生できません。PBC機能を使うには、もう一度メニューボタンを押します。

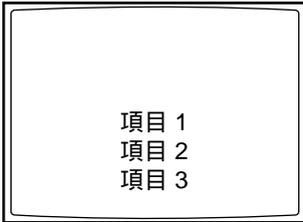
トップメニュー画面から再生する

ディスクによっては、複数のタイトルを記録し、トップメニューを備えたディスクがあります。この場合は、トップメニュー画面から再生すると便利です。

1 トップメニューボタンを押す

- トップメニュー画面が表示されます。
- トップメニュー画面はディスクによって異なります。

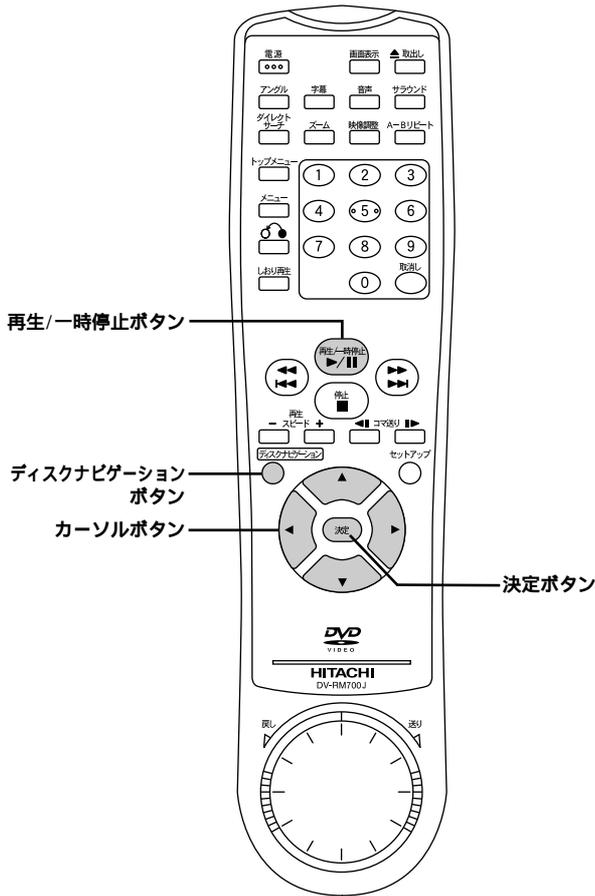
2 ◀▲▼▶ボタンでチャプター/トラックを選ぶ

- ディスクによっては、数字ボタンで選べるものがあります。

項目 1
項目 2
項目 3

3 決定ボタンを押す

- 項目が決定します。
- 以下のメニューに従って操作します。

メモ

- ディスクによっては、トップメニュー画面から再生できないものもあります。
- ディスクによっては、メニューボタン、トップメニューボタンのどちらを押しても、同じ画面を表示するものがあります。

ディスクナビゲーション

ディスクナビゲーション機能は、ディスクに記録されている各チャプター（DVD）または各トラック（ビデオCD）の画面を表示することができます。

メモ

- 手順3で決定ボタンを押す前にディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション機能が停止し、元の映像に戻ります。
- 選択を右端へ移動させてさらに▶ボタンを押すと次のページが表示されます。選択を左端へ移動させてさらに◀ボタンを押すと前のページに戻ります。
- 他のタイトル番号を表示させたいときは、▲ボタンでタイトル番号を選び、◀ ▶ で表示したいタイトル番号を選びます。
- ビデオCDでディスクナビゲーション機能を使うと、PBCが自動的に解除されます。
- ディスクによっては、ディスクナビゲーション画面の一部が表示されなかったり、位置がずれてしまうことがありますが、故障ではありません。
- チャプター/トラックを選択すると画像が動き始めます。動き始めてから決定ボタンを押してください。画像が動き始める前に決定ボタンを押すと、再生しないことがあります。

ご注意

- ディスクによってはディスクナビゲーションボタンを押しても、機能が働かない場合があります。

1 ディスクナビゲーションボタンを押す

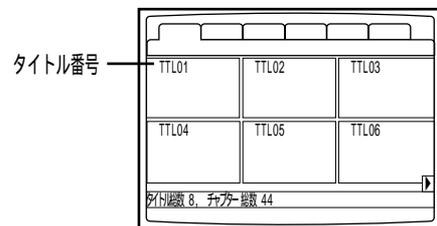
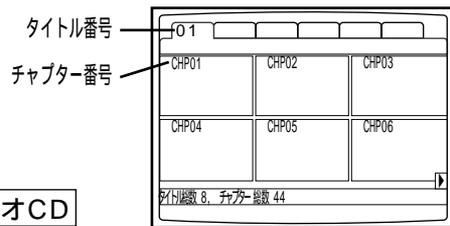
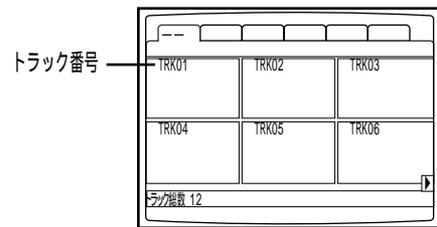
ディスクナビゲーション

- 各タイトル/チャプター/トラックの最初の画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ ボタンでタイトル/チャプター/トラックを選ぶ

- 右下の画面が選択されているときに ▶ボタンを押すと、次のページが表示されます。

DVD

- ディスクに記録されているタイトル数が7以上ある場合は、最初にタイトル選択画面が表示されます。タイトル番号を決定したあとチャプター選択画面が表示されます。タイトル数が6以下の場合は、チャプター選択画面が表示されます。希望のタイトル/チャプター番号を選んでください。

または

ビデオCD

3 決定ボタンを押す

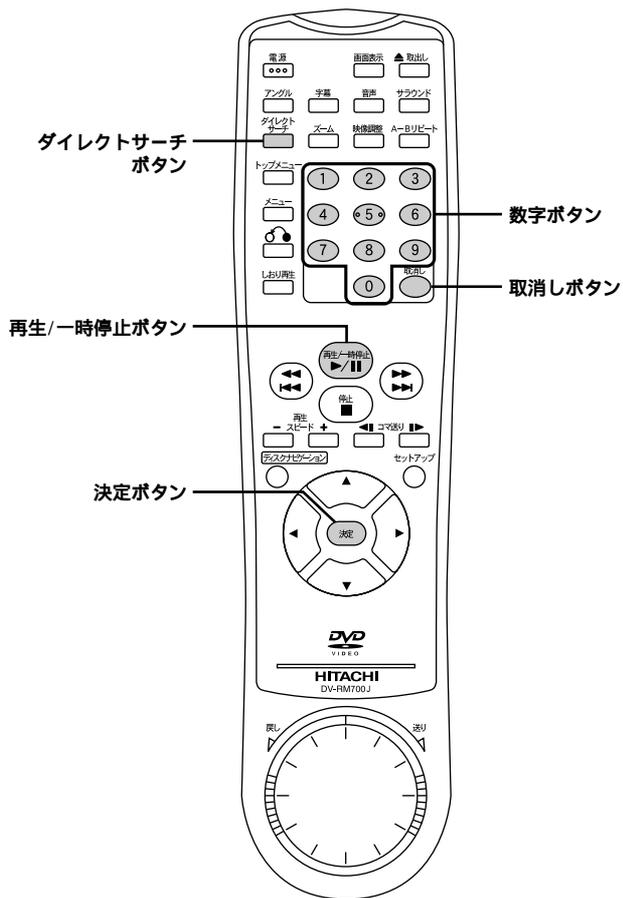
- 再生が始まります。
- 再生/一時停止ボタンを押しても、再生が始まります。

ダイレクトサーチ(タイトル/チャプター/トラック) DVD VCD CD

メモ

- DVDを再生中にタイトルを指定しないでチャプターを指定すると、現在再生中のタイトルのチャプターの意味になります。タイトルだけを指定すると、そのタイトルの始まりを探します。

ご注意

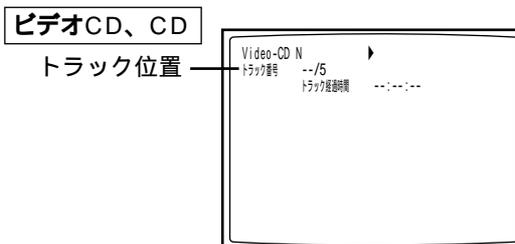
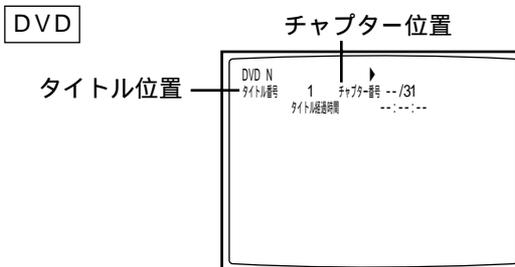
- DVDを停止中にダイレクトサーチする場合は、必ずタイトル番号を指定してください。
- ディスクによっては、ダイレクトサーチボタンを押しても機能が働かない場合があります。

1 ダイレクトサーチボタンを押す

- モード表示画面が表示されます。

2 数字ボタンでタイトル/チャプター/トラックを設定する

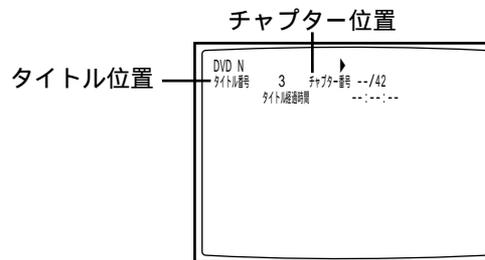
- タイトル番号の文字が黄色になります。

DVD

ビデオCD、CD

- タイトル番号またはトラック番号の分母は記録されている総タイトル数、総トラック数です。

例1．タイトルの３を選ぶとき

例2．タイトルの10を選ぶとき

- DVDのときは、さらにダイレクトサーチボタンでチャプターを選び、数字ボタンで希望のチャプターを設定します。

- チャプター番号の分母は、指定したタイトルに含まれる総チャプター数です。

3 決定ボタンを押す

- 指定したタイトル/チャプター/トラックの画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 設定を取り消したいときは、取消しボタンを押します。

ダイレクトサーチ（タイム）

1 ダイレクトサーチボタンを押す

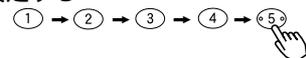
ダイレクトサーチ

- モード表示画面を表示します。
- タイトル/トラック番号を入力する。

2 ダイレクトサーチボタンで時間表示位置を選ぶ

- 選ばれると時間表示が00:00:00になります。

3 数字ボタンで時間を設定する

例1：23：45を設定する

①→②→③→④→⑤

数字ボタンを押すごとに、次のように表示されます。

00:00:01
00:00:12
:
01:23:45

4 決定ボタンを押す

- 指定したタイトル/トラックの指定した時間の画面から再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。
- 設定を取り消したいときは、取消しボタンを押します。

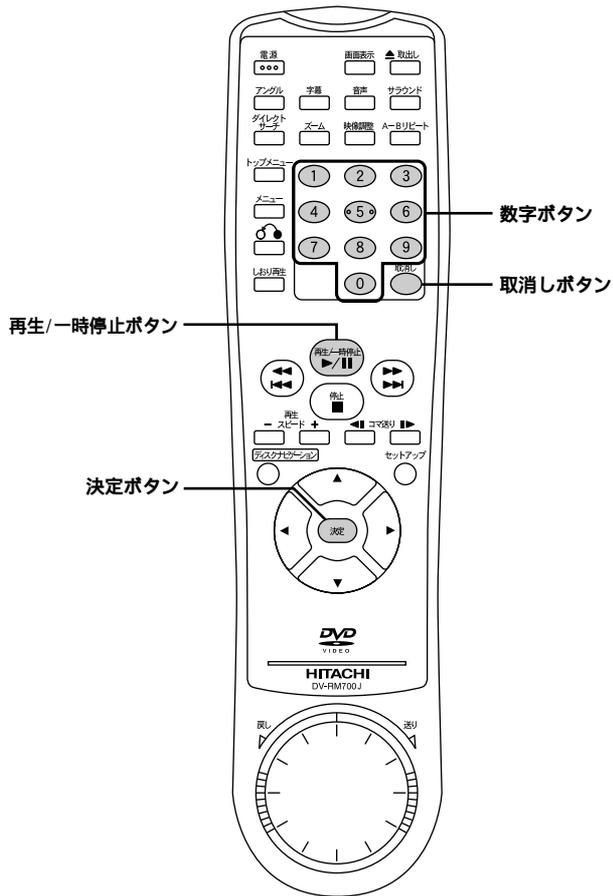
メモ

- 時間は指定するタイトル/トラックの始めからの時間です。
- 再生中にタイトル/トラックを指定しないで時間を入力すると、現在再生中のタイトル/トラックの始めからの時間になります。

ご注意

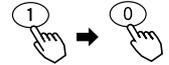
- DVDを停止中にダイレクトサーチをする場合は、必ずタイトル番号も指定してください。
- ビデオCDまたはCDを停止中にダイレクトサーチをする場合は、必ずトラック番号を指定してください。

CDのダイレクトサーチ

CDはテレビ画面を見なくても、本機の表示窓だけで操作できます。

1 数字ボタンでトラック番号を選ぶ

●10番目以降の曲を選ぶときは、2秒以内に次の数字を入力してください。

例1．トラック3を選ぶとき

例2．トラック10を選ぶとき

● ボタンを押し間違えた場合は、取消しボタンを押すと消去されます。数字ボタンで再入力すると、上書きします。

2 決定ボタンを押す

● 指定したトラック番号を再生します。
● 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。

メモ

● トラック番号を入力したあとカーソルボタンの▶ボタンを押すと、表示窓が時間入力モードになって、H、M、Sが点滅します。
数字ボタンで時間を入力し、決定ボタンを押すと、指定したトラックの指定した時間から再生します。
時間はそのトラックの始まりからの時間です。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD VCD CD

再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返して再生することができます。また、指定した箇所を繰り返し再生することができます。

ご注意

- ディスクによってはリピート再生できないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生したとき（ＰＢＣ再生）、ディスクリピートやトラックリピートをすることができません。

指定した箇所をリピート再生する

1 繰り返しを始めたい箇所でA-Bリピートボタンを押す

- テレビ画面には「A-Bリピート A ▶ B」と表示され、A地点が確定したことを表示します。

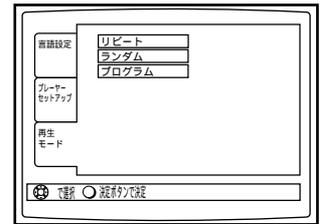
2 終了したい箇所でもう一度A-Bリピートボタンを押す

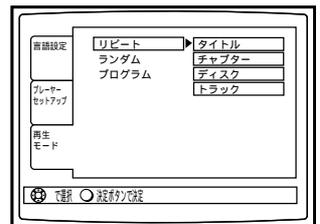
- B地点が確定し、A-B間のリピート再生をします。
- 表示窓にはA ⇄ Bと表示され、リピート再生中をお知らせします。
- もう一度A-Bリピートボタンを押すか取消しボタンを押すと、テレビ画面に「リピートキャンセル」と表示され、A-Bリピート再生が取り消されます。
- B地点を確定する前にディスクの最後まで再生されると、A地点は自動的に取り消されます。

ディスク、タイトル、チャプター、トラックをリピート再生する

1 セットアップボタンを押す

- セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで「再生モード」を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンで「リピート」を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンでリピート再生したい項目を選び、決定ボタンを押す

再生中

- セットアップメニュー終了後再生中のタイトル/チャプター/トラックに関するリピート再生を始めます。

停止中

- セットアップメニュー終了後タイトル/チャプター/トラックサーチ28によりリピート再生したいタイトル/チャプター/トラックを選び、再生を始めます。
- ディスクを選択するとディスク全体（ビデオCD、CD）をリピート再生します。
- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。

リピート再生を停止する

取消しボタンを押す

- リピート再生を終了し、再生はそのままつづきます。
- 停止ボタンを押すとリピート再生を終了し、停止します。

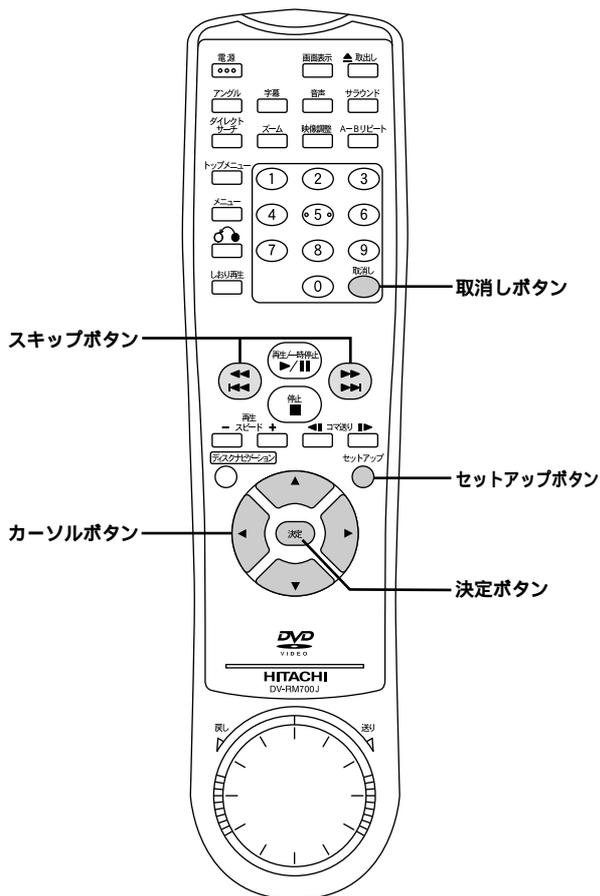
順不同で再生する（ランダム再生） DVD VCD CD

ディスクのタイトル、チャプター、トラックを本機が順不同に並べ替えて再生します。すべての再生が終わると停止します。

メモ

- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合（PBC再生）、ランダム再生をするとPBCが解除されます。
- プログラムした内容をランダム再生することはできません。
- ランダム再生で再生できるのは、最大99のチャプター/トラックです。

ご注意

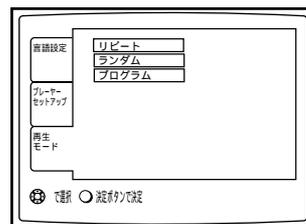
- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。

ランダム再生する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

- セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで「再生モード」を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで「ランダム」を選ぶ

4 決定ボタンを押す

- 画面に「ランダム」が表示され、ランダム再生を始めます。

ランダム再生を停止する

取消しボタンを押す

- テレビ画面に「ランダムキャンセル」と表示され、ランダム再生を終了します。現在再生しているチャプター/トラックのあとを順番に再生していきます。
- 停止ボタンを押すとランダム再生を終了し、停止します。

■ランダム再生中に

- ▶▶I ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶチャプター/トラックが再生されます。
- I◀◀ ボタンを押すと、ひとつ前に再生したチャプター/トラックに戻ります。

見る・聞く

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

お好みの順番で再生することができます。プログラムする内容はディスクによって異なります（DVDではタイトルとチャプター、ビデオCD、CDではトラック）。

プログラム再生

メモ

- ビデオCD、CDのときは、多少画面が異なります。
- タイトル、チャプター、プログラム、全曲取り消し、再生の各位置へ移動するにはカーソルボタンの▶ボタンを使います。
- プログラム数の最大は99です。
- 設定したプログラム再生が終了すると停止状態になります。

ご注意

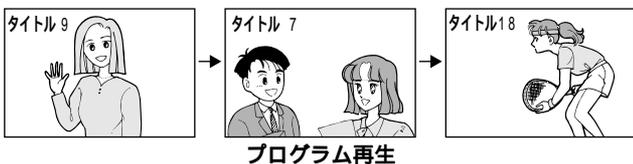
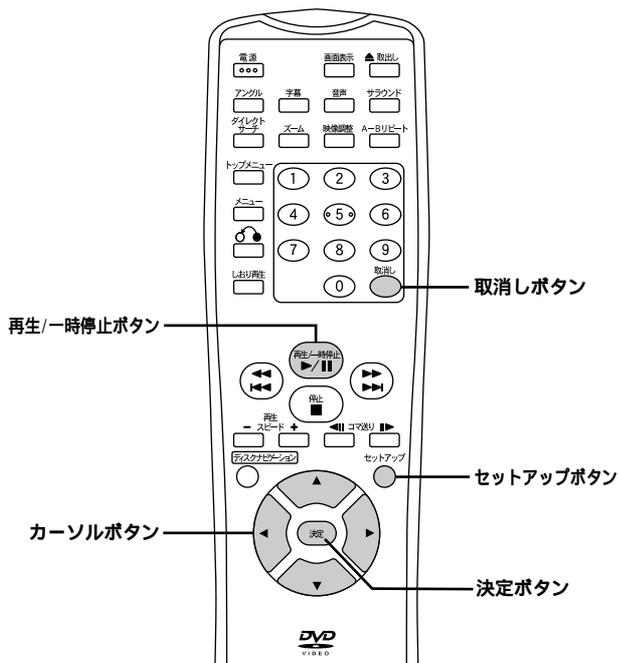
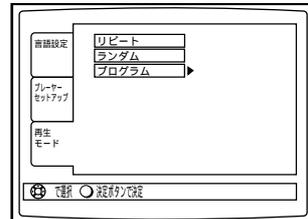
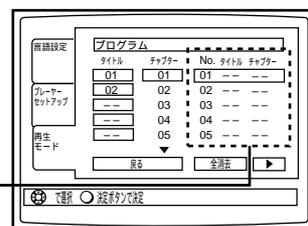
- ディスクによっては、プログラム再生できないものや途中で停止するものがあります。

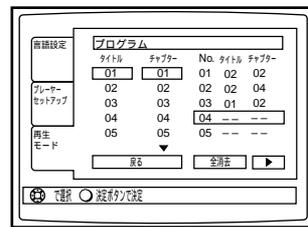
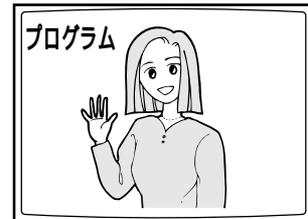
プログラムを設定する

1 セットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

セットアップ

2 ▲▼ボタンで「再生モード」を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンか▶ボタンを押す

4 ◀▲▼▶ ボタンでお好みのタイトルとチャプターを選び、決定ボタンを押す

- この操作を行うごとに、ひとつずつプログラムリストに登録されます。
- ビデオCD、CDのときは、トラックを選びます。

5 ◀▲▼▶ ボタンで ▶ を選び、決定ボタンを押す

- テレビ画面に「プログラム」が表示され、プログラム再生が始まります。

- 再生/一時停止ボタンでも再生が始まります。

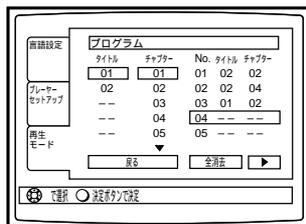
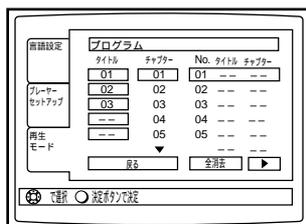
プログラムをすべて取り消す

1 **セットアップボタンを押す**

セットアップ

- セットアップ画面が表示されます。

2 **▲▼ボタンで「再生モード」を選び、▶ボタンを押す**

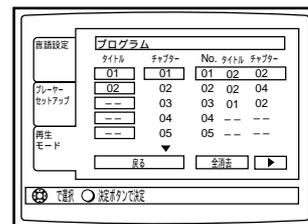
3 **▲▼ ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンか▶ボタンを押す**

4 **▶ ボタンで「全消去」を選び、決定ボタンを押す**

- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。
- ひとつずつ消すには、プログラムリストから◀▲▼▶ボタンで消したいプログラム番号を選び、取消しボタンを押します。

プログラムを確認する

1 **セットアップボタンを押す**

- セットアップ画面が表示されます。

2 **▲▼ボタンで「再生モード」を選び、▶ボタンを押す**

3 **▲▼ ボタンで「プログラム」を選び、決定ボタンか▶ボタンを押す**

4 **確認が終了したらセットアップボタンを押す**

- セットアップメニューが消えます。

プログラム再生を停止する

取消しボタンを押す

- プログラム再生を終了し、現在再生されているプログラムのあとを順番に再生していきます。
- 停止ボタンを押すとプログラム再生を終了し、停止します。

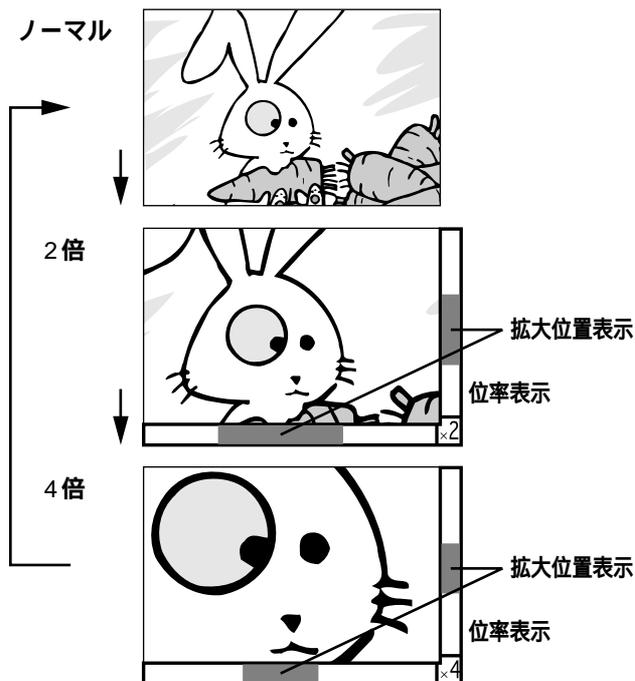
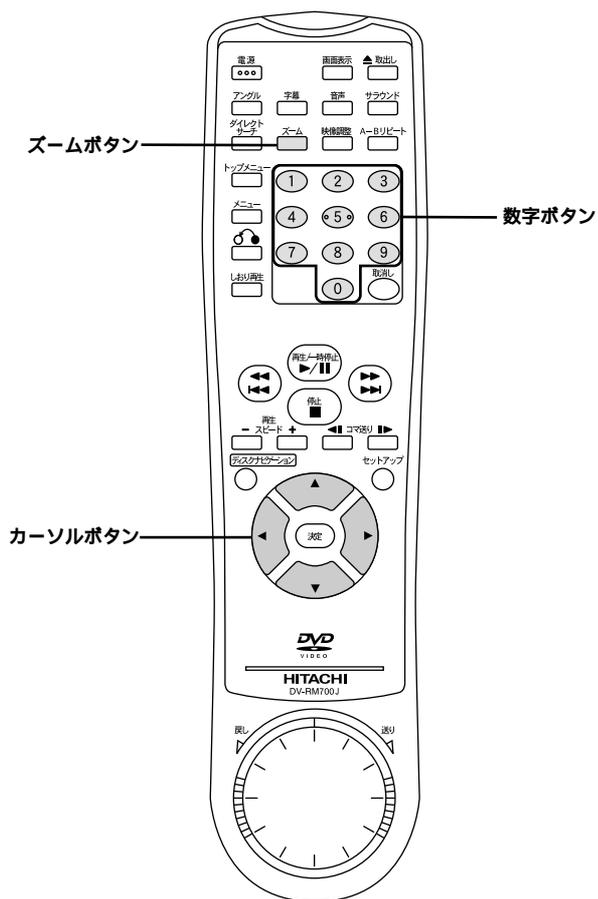
ご注意

- ビデオCDをメニュー画面を表示して再生したとき(PBC時)、プログラム再生をすることができません。
- チャプターの移り変わりのときに、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。

画面の一部を拡大する（ズーム）

画面の一部を2倍、4倍に拡大することができます。

再生中にズームボタンを押す

●ボタンを押すたびに画面が切り換わります。
●画面に拡大位置と倍率が表示されます。

● ズーム再生中に◀▲▼▶ボタンを押すと、拡大位置を変更することができます。
● 数字ボタンの①〜⑨でも拡大位置を変更することができます。

① 左上	② 上	③ 右上
④ 左	⑤ 中央	⑥ 右
⑦ 左下	⑧ 下	⑨ 右下

メモ

●ビデオCDは、4倍ズームにすることができません。
●ビデオCDの高精細静止画はズームができません。
●字幕やメニューの選択表示などは拡大されません。
●取消しボタンを押すと、拡大位置表示のバーは消えて拡大されたまま再生されます。画面の右上には ×2（または×4）と表示され、拡大再生していることをお知らせします。

ご注意

●ズームにすると、通常の画面では気にならない部分も、拡大されるため画質は劣化します。2倍よりも4倍の方が画質は劣化します。
●ズーム中は、画像がゆれることがあります。

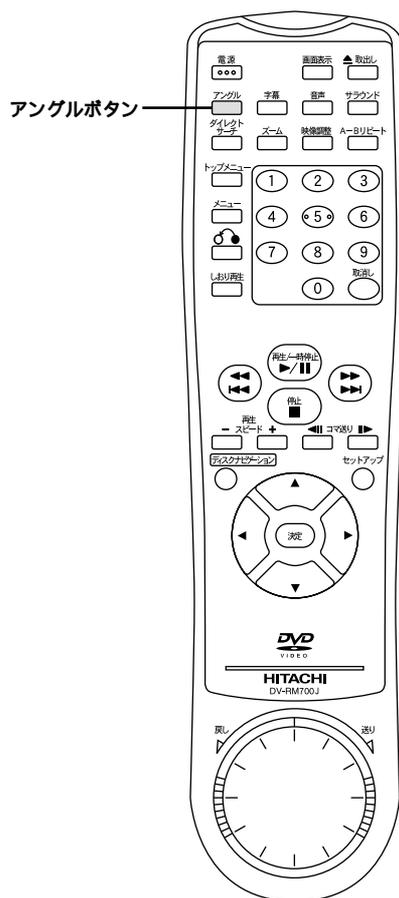
見たい方向からの映像を選ぶ（アングル）DVD

複数の方向から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

メモ

- ●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。また、複数のアングルが記録されているディスクでも表示窓のANGLEが点滅していないときは切り換えができません。
- ●アングルボタンを押してからアングルが切り変わるまでに数秒かかります。

ご注意

- ●ディスクによっては、ANGLEが点滅していても、アングル切り換えできないものがあります。

再生中に、アングルボタンを押す

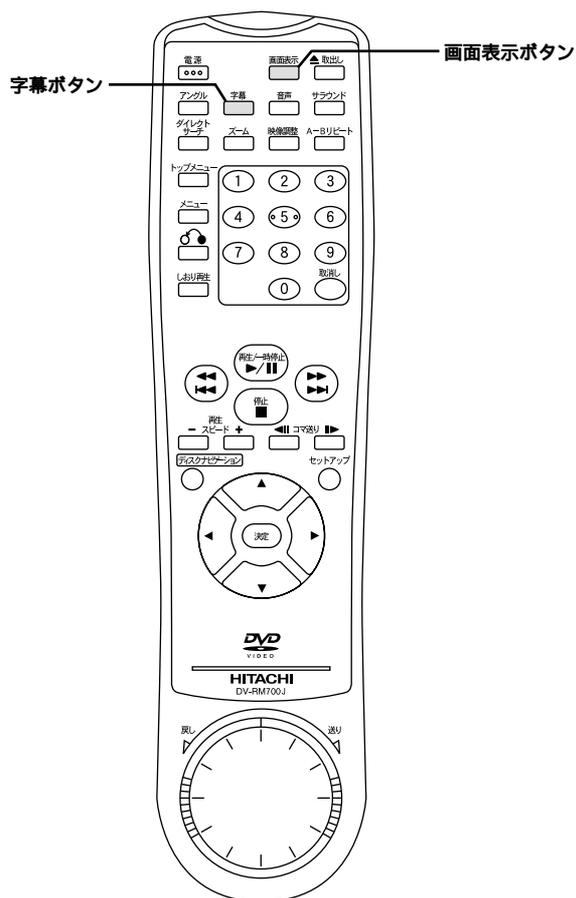
- ● 表示窓に“ ANGLE ”が点滅しているのを確認してください。
- ● ボタンを押すたびに画面が切り換わります。
- ● 画面に選択されているアングルの番号が表示されます。

例：４つのアングルが記録されている場合

分母：記録されているアングルの総数を示します。
分子：選択されているアングル番号を示します。

見る・聞く

字幕言語を選ぶ

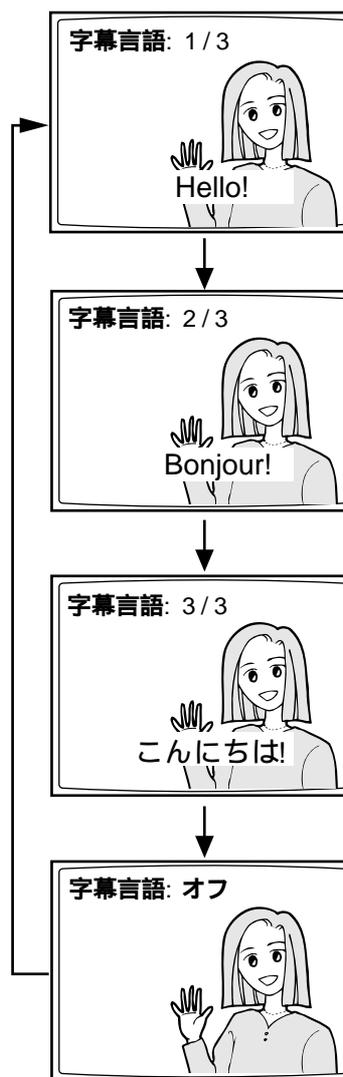
複数の字幕言語が記録されたＤＶＤでは、字幕言語を選ぶことができます。

再生中に字幕ボタンを押す

- 字幕ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。
- 画面に選択されている字幕言語番号が表示されます。

■字幕言語の表示を消す

再生中に字幕ボタンを押しオフを選びます。または字幕言語メニューが表示されているときにオフを選びます。

例：３つの字幕言語が記録されている場合

分母：記録されている字幕言語の総数を示します。
分子：選択されている字幕言語番号を示します。
オフ：字幕言語を表示しません。

メモ

- 字幕言語が切り換わらないときは、字幕が記録されていないか、ディスクが禁止しているか、または１つしかないためです。
- ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、メニューボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。

ご注意

- ディスクによってはセットアップボタンを押して表示されるセットアップメニューでしか字幕言語を選べないものがあります。

音声言語を選ぶ

複数の音声言語が記録されたDVDでは、音声言語を選ぶことができます。

再生中に音声ボタンを押す

- ボタンを押すたびに音声言語が切り換わります。
- 画面に音声言語番号が表示されます。

例：４つの音声言語が記録されている場合

分母：記録されている音声言語の総数を示します。
分子：選択されている音声言語番号を示します。

メモ

- ＤＶＤには、ドルビーデジタルやＬＰＣＭなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好きな言語をお選びください。
- ディスクに1言語しか記録されていないときは、音声言語は切り換わりません。
- ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、メニューボタンを押してメニュー画面を表示して選ぶこともできます。
- セットアップボタンを押して表示されるセットアップ画面でも、音声言語を選ぶことができます。
- ビデオCD、CDのときに音声ボタンを押すと、L、R、L/Rの切り換えになります。
- 再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声出力にノイズが入ることがあります。

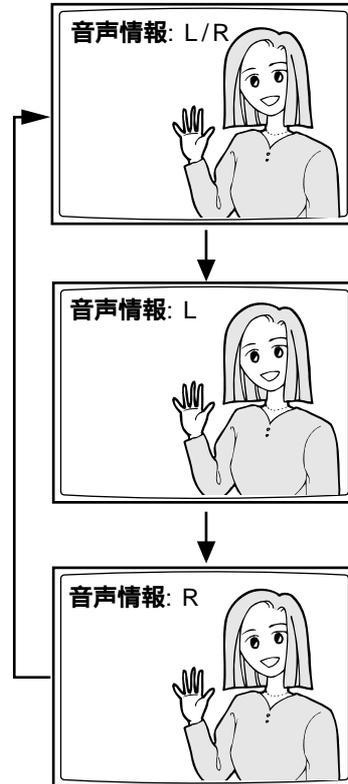
ご注意

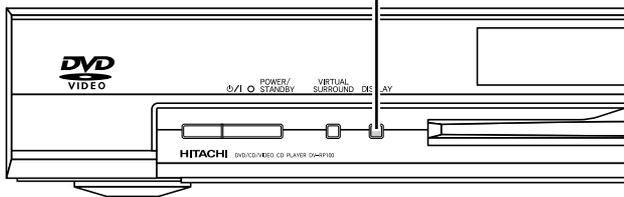
- ディスクによっては音声ボタンを押しても切り換えられない場合があります。その場合、セットアップメニューの言語設定で切り換えてください。

音声を切り換える

再生中に音声ボタンを押す

音声

- ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
- 画面に選択されている音声情報が表示されます。

L/R …………Lch(左)の音声が左のスピーカから、
Rch(右)の音声が右のスピーカから出ます。
L ……………Lch(左)の音声が左右両方のスピーカから出ます。
R ……………Rch(右)の音声が左右両方のスピーカから出ます。

メモ

- DVD再生中に音声ボタンを押すと、音声言語が切り換わります。
- 画面表示ボタンまたはDISPLAYボタンを押すと、音声情報が消えます。

情報を見る

ディスクの再生状態やいろいろな時間情報を表示することができます。時間表示はディスクによって異なります。

画面表示ボタンを押す

- 画面にモード表示が表示されます。
- ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

メモ

- 本体前面のDISPLAYボタンを押しても表示されます。

タイトル経過時間……タイトルの経過時間を表示します。
タイトル残り時間……タイトルの残り時間を表示します。
ディスク情報…………再生しているディスクの情報を表示します。
トラック経過時間……トラックの経過時間を表示します。
トラック残り時間……トラックの残り時間を表示します。
タイトル時間…………再生中のタイトルの総時間を表示します。
総残り時間……………トータルの残り時間を表示します。
トラックの総時間……再生中のトラックの総時間を表示します。
モード表示オフ………モード表示を消します。

DVD

DVD N ▶
タイトル番号 1 チャプター番号 1
タイトル経過時間 00:00:02

→

DVD N ▶
タイトル番号 1 チャプター番号 1
タイトル残り時間 01:29:36

→

ディスク
タイトル番号 : DVD N
チャプター番号 : 1 / 2
タイトル時間 : 1 / 17
アングル番号 : 01:29:38
字幕言語 : 1 / 1
音声情報 : 1 / 3
: ドルビーデジタル 2ch

タイトル経過時間 → **タイトル残り時間** → **ディスク情報** → **モード表示オフ**

VCD

Video-CD N ▶
トラック番号 1
トラック経過時間 00:01:52

→

Video-CD N ▶
トラック番号 1
トラック残り時間 00:48:20

→

Video-CD N ▶
トラック番号 1
総残り時間 00:35:42

トラック経過時間 → **トラック残り時間** → **総残り時間** → **モード表示オフ**

CD

CD ▶
トラック番号 1
トラック経過時間 00:01:59

→

CD ▶
トラック番号 1
トラック残り時間 00:02:51

→

CD ▶
トラック番号 1 TRACK TIME 00:35:13

トラック経過時間 → **トラック残り時間** → **トラックの総時間** → **モード表示オフ**

メモ

- 時間表示やディスク情報表示をしているときに ▶ ボタンを押すと、タイトル、チャプター、トラックサーチモードになります。
- 画面表示ボタンでモード表示をオフにしても、再生モードが変わるとタイトル/トラック番号（T）やチャプター（C）が約5秒間自動的に表示されます。
- PBC付きビデオCDを再生しているときは､“ トラック番号 ”のかわりに“ PBC番号 ”と表示されます。
- 画面表示ボタンを押すたびに、上のイラストのように表示が切り換わります。

ご注意

- ディスクによっては時間を表示しないものがあります。

見る・聞く

出力形式を変更する

映像信号の出力形式を変更することができます。

メモ

- 工場出荷時の設定に戻すには（この操作には、ディスクが入っていない状態で行ってください。）本体のSTOPボタンとPOWER/STANDBYボタンを同時に押し、POWER/STANDBYボタンを離してSTOPボタンを5秒以上押しつづけると、工場出荷時の設定に戻ります。表示窓の DVD 、VCD 、CD が点滅から点灯に変わったあと、POWER/STANDBYボタンを押して、1度電源を切り、もう1度本体のPOWER/STANDBYボタンを押して電源を入れます。この時、他の情報（言語、字幕、しおり再生メモリーなど）の設定も工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意

- 表示窓に「no disc」と表示されていることを確認してください。ディスクが挿入された状態での変更はできません。
- DVDのリージョンコードが本機のリージョンコードと異なる場合は動作しません。その場合、表示窓に「no play」と表示されます。
- DVDのPALディスクをNTSC形式で出力することはできません。
- ビデオCDのPALディスクをNTSC形式で出力するとき、若干縦長の画面になります。
- 選択した出力モードの表示が終わると、設定が完了します。

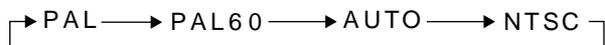
①本体の前面の ►/II（PLAY/PAUSE）ボタンを押したままにする。
②POWER/STANDBYボタンを押す。
③POWER/STANDBYボタンを離したあと、►/II（PLAY/PAUSE）ボタンを約5秒間押したままにする。

- 現在の入力の形式（n、P、P60、A）が約5秒間表示されます。このとき ►/II（PLAY/PAUSE）ボタンを押して、取り消すことができます。

現在の出力形式が表示している間に、本体の ►/II（PLAY/PAUSE）ボタンを押す

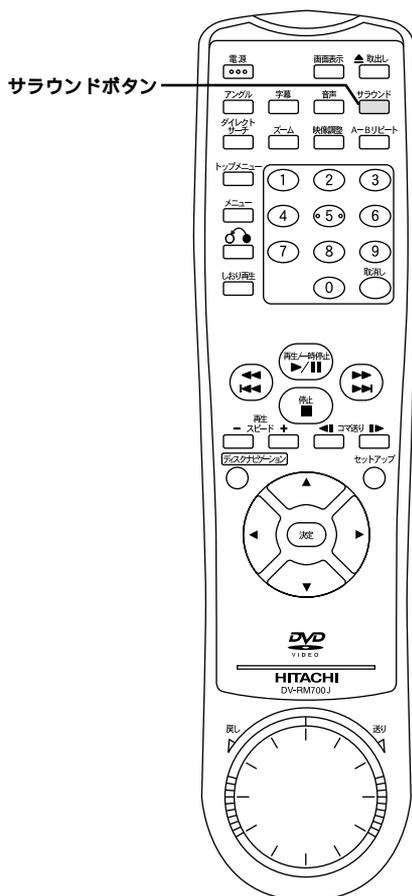
- 本体の ►/II（PLAY/PAUSE）ボタンのかわりにリモコンの ▲ ボタンを押しても、同じく操作できます。
- 現在の出力形式が表示窓に表示されます。

A ....AUTOモード　**P**.............PALモード
n.........NTSCモード　**P60** PAL60モード

→ PAL → PAL60 → AUTO → NTSC ┐（PALへ戻る）

- 出力形式を選んだあと、表示が消えるまで何も操作しないでください。
- 表示が消えたら、POWER/STANDBYボタンを押して1度電源をオフにし、もう１度オンにしてからお使いください。

PALモード：
DVD、ビデオCDのNTSCディスクでもPALディスクでもPAL形式で出力されます。
PAL60モード：
DVD、ビデオCDのNTSCディスクの場合、PAL60モードで出力されます。PALディスクは、PALモードで出力されます。
AUTOモード：
DVD、ビデオCDのNTSCディスクをかけたときはNTSC形式で、PALディスクをかけた時はPAL形式で出力します。
NTSCモード：
ビデオCDのPALディスクは、NTSC形式で出力されます。DVD、ビデオCDのNTSCディスクは、NTSC形式で出力されます。

サラウンドモードを変更する

ステレオタイプ（2ch）のテレビやオーディオ機器で拡がりのある音声が楽しめるバーチャルサラウンド回路を搭載しています。

再生中にサラウンドボタンを押す

● サラウンド機能のオンまたはオフを選びます。
ボタンを押すたびに、画面の表示がサラウンドオン、サラウンドオフに切り換わります。

メモ

● サラウンド機能がオンになっていると、表示窓に(((SR)))が表示されます。
● バーチャルサウンドは、ドルビーデジタル（5.1ch）音声やドルビーサラウンド（プロロジック）の音声が記録されているDVDで楽しめます。
● バーチャルサラウンドのスピーカー出力は2chです。
セットアップ画面で“5.1ch”に設定しているときに、サラウンドボタンを押して、サラウンド機能をオンにすると、“2ch”に切り換わります。
● ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDを再生すると、フロントスピーカーの音が実際の位置よりも左右に広がって聞こえたり、サラウンドスピーカーが存在しない横方向から音が出ているように聞こえます。
● カラオケ機能のあるビデオCDを再生中、サラウンドボタンを押してサラウンド機能がオンになっていると、カラオケの機能が動作しません。
● 再生中にリモコンのサラウンドボタンを押すと、音声にノイズが入ることがあります。
● 本体前面のVIRTURL SURROUNDボタンを押しても、同じく動作します。

本機の音声機能はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。
SPATIALIZER® およびシンボルマークは、デスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

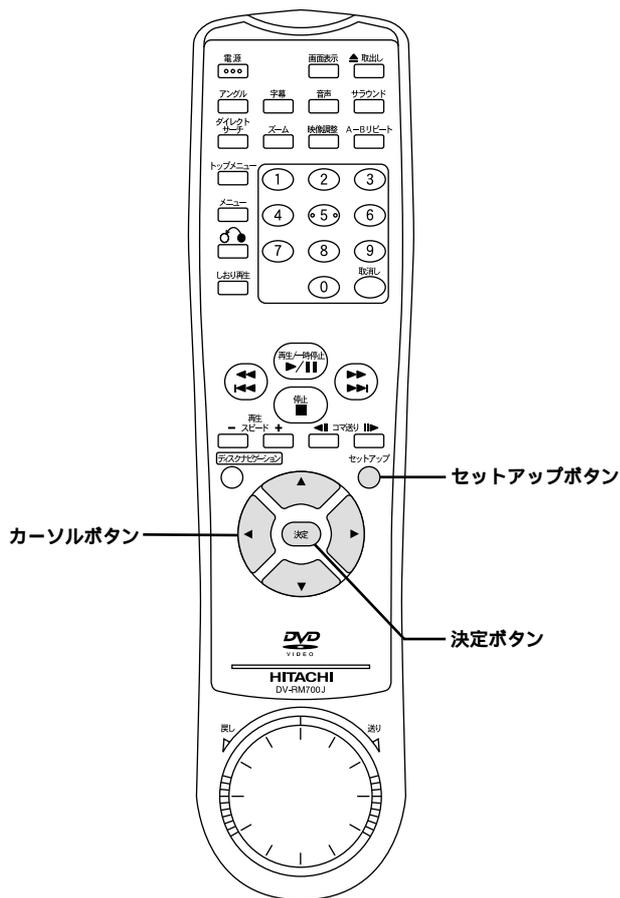
ワイドテレビ用ソフトを設定する

通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形（アスペクト比）を設定します。

メモ

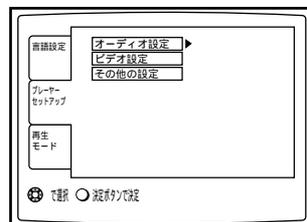
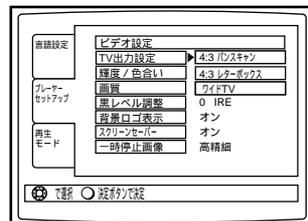
- 通常のテレビは横4、縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16、縦9の比率になっています。

ご注意

- ディスクによっては、パンスキャンモード、レターボックスモードに対応していないものもあります。

1 停止中にセットアップボタンを押す

セットアップ

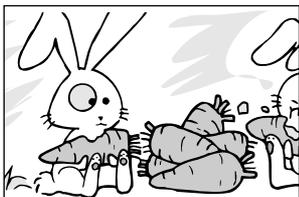
- セットアップ画面が表示されます。

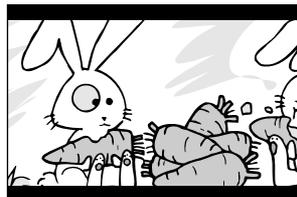
2 ▲▼ボタンで「プレーヤーセットアップ」を選び、▶ ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで「ビデオ設定」を選び、決定 または▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンで「TV出力設定」を選び、▶ボタンを押す

5 ▲▼ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

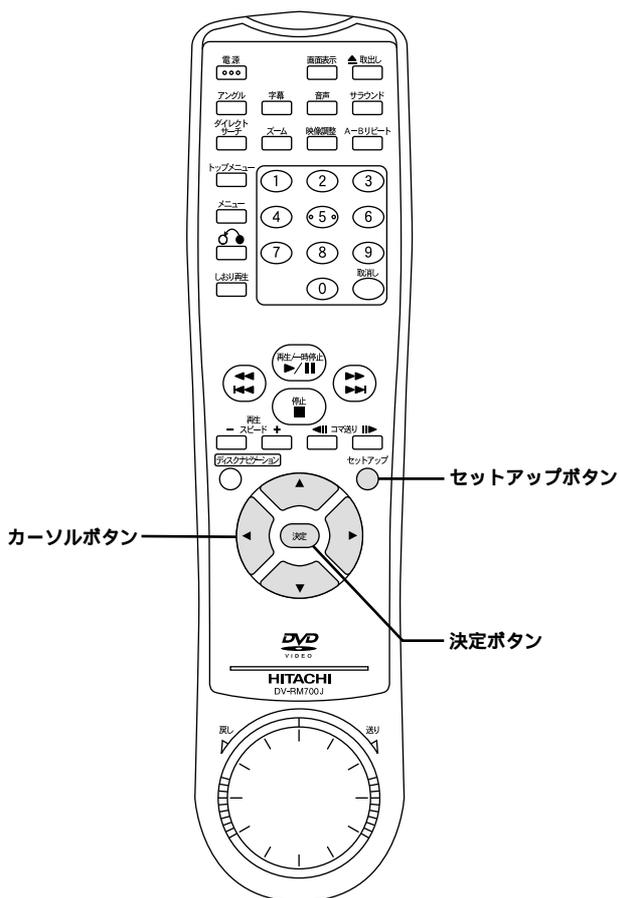
- セットアップボタンを押すと、セットアップ画面が消えます。

ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

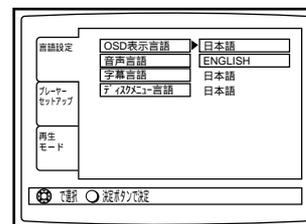
パンスキャンモードでは、上下の高さに合わせて映し出します。

- 元の映像の左右が欠けます。

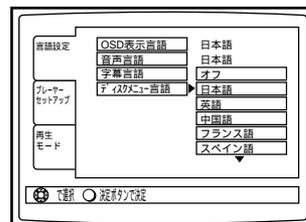
レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。

- 上下の余った部分が帯状になります。

字幕言語を設定する

複数の字幕言語が記録されたDVDのために、セットアップ画面で字幕言語を設定することができます。

1 停止中にセットアップボタンを押す

- セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで「言語設定」を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで「字幕言語」を選び、▶ボタンを押す

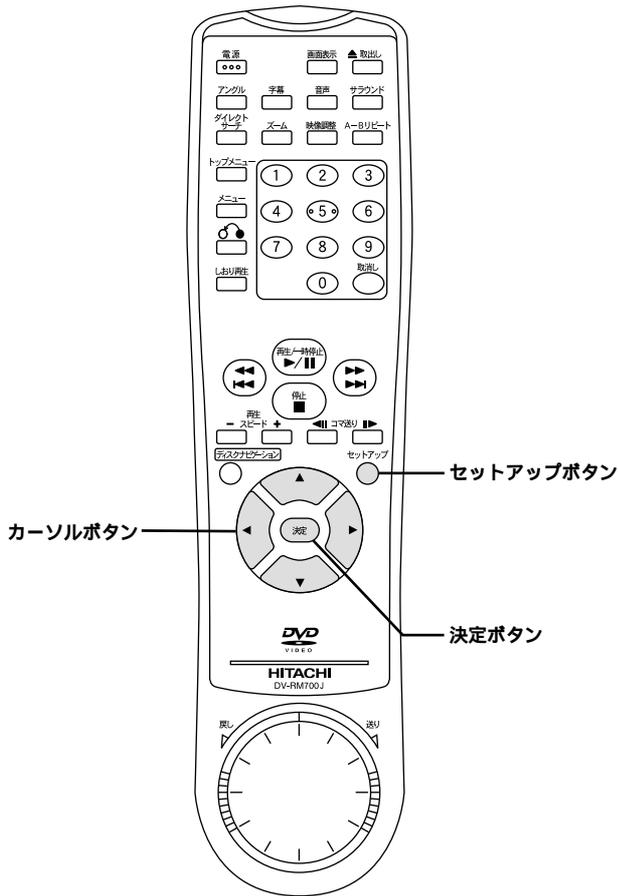
4 ▲▼ ボタンでお好みの字幕言語を選ぶ

- 決定ボタンを押すと、選んだ字幕言語が決定されます。
- セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

メモ

- セットアップ画面に表示されない言語を選ぶときは、「その他▶0000」を選び、お好みの言語を言語一覧表 51 から探して数字を入力してください。

見る・聞く

音声言語を設定する

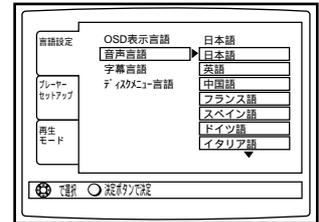
複数の音声言語が記録されたDVDのために、セットアップ画面で音声言語を設定することができます。

1 停止中にセットアップボタンを押す

セットアップ

● セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで「言語設定」を選び、▶ボタンを押す

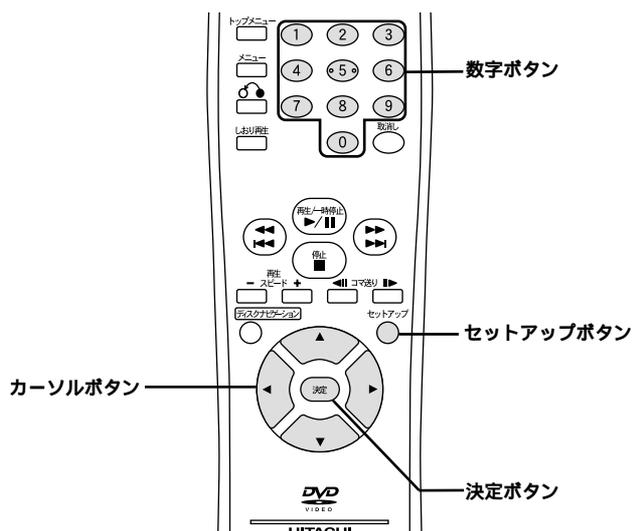
3 ▲▼ボタンで「音声言語」を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンでお好みの音声言語を選ぶ

● 決定ボタンを押すと、選んだ音声言語が決定されます。
● セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

メモ

● 音声ボタンでも設定することができます。
● セットアップ画面に表示されない言語を選ぶときは、「その他▶0000」を選び、お好みの言語を言語一覧表 51 から探して数字を入力してください。

視聴制限を設定する（パレンタルロック） DVD

視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなど子どもに見せたくない部分を飛ばしてみることができます。

■初めてお使いになるとき

初めてお使いになるときは、暗証番号が設定されていません。暗証番号欄には0000が表示され、決定ボタンを押すとパレンタルレベル設定画面が表示されます。

■暗証番号を登録するには

暗証番号入力画面（手順5）で4桁の数字を入力します。数字は次回からは表示されません。

■暗証番号を解除するには

暗証番号入力画面（手順5）で (リターン)ボタンを続けて4回押します。0000が表示され、初期状態になります。

1 停止中にセットアップボタンを押す

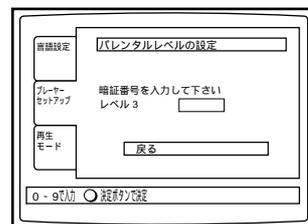
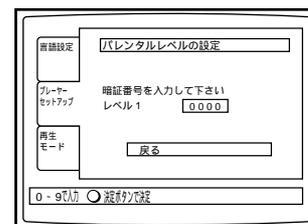
セットアップ

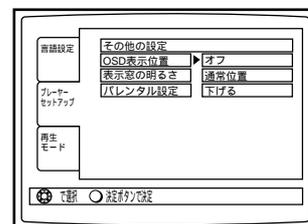
● セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで「プレーヤーセットアップ」を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンで「その他の設定」を選び、決定ボタンか▶ ボタンを押す

4 ▲▼ボタンで「パレンタル設定」を選び、決定ボタンか▶ボタンを押す

● 暗証番号入力画面が表示されます。

5 数字ボタンで暗証番号を入力する

● パレンタルレベル設定画面が表示されます。
● 暗証番号を間違えると、パレンタルレベル設定画面へ進みません。もう一度、暗証番号を入力してください。
● パレンタルレベルを変えないときは、▼ ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押してください。

6 ▲▼ ボタンで設定したいパレンタルレベルを選び、決定ボタンを押す

●「その他の設定」画面に戻ります。

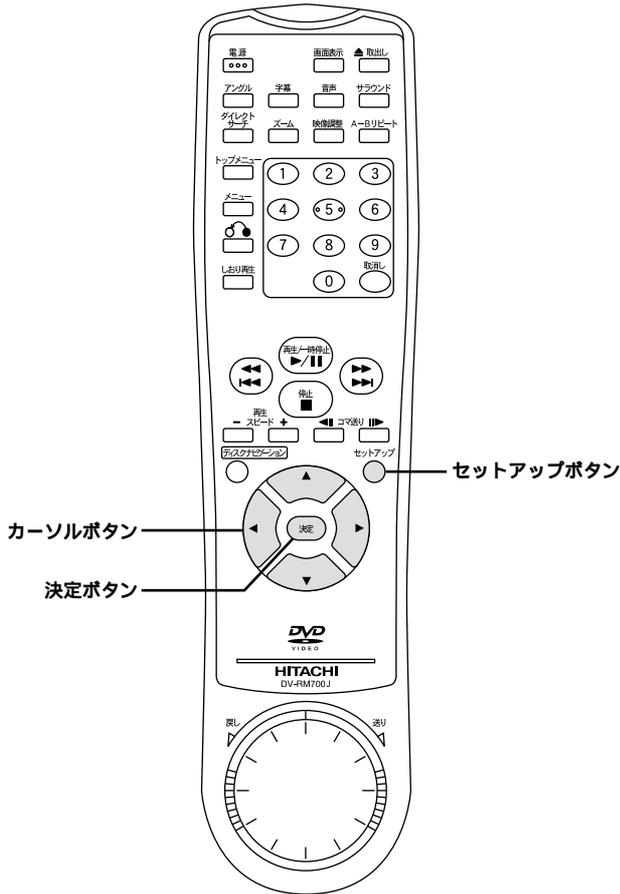
メモ

● ＊＊＊＊は４桁の数字を表します。パスワードを入力し、決定ボタンを押したあとは、暗証番号は表示されません。

ご注意

● ディスクによってはパレンタルロックがかからないものがあります。

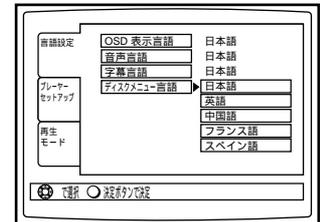
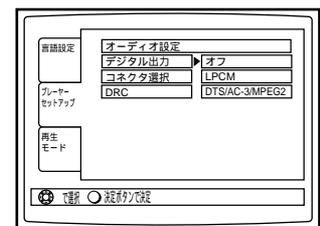
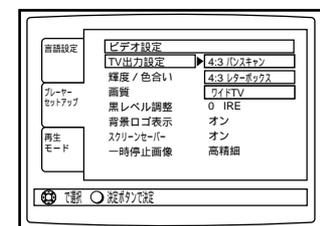
見る・聞く

さまざまな設定を変更する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

● セットアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで設定したい画面を選ぶ

（画面1）

（画面2）

（画面3）

3 ◀▲▼▶ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

● セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

初期状態（工場出荷時）

			初期状態		
言語設定	①OSD表示言語	モード表示とセットアップ画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	日本語	ENGLISH	画面1
	②音声言語	出力される音声言語を選択できます。ディスクに入っていない言語を選択した場合は、その言語を聞くことはできません。	日本語	オフまたは希望する言語を指定します 50	
	③字幕言語	画面に表示される字幕の言語を選択できます。ディスクに入っていない言語を選択した場合は、表示されません。	日本語	希望する言語を指定します 50	
	④ディスクメニュー言語（DVDのみ）	指定した言語でディスクのメニューを表示します。指定した言語に対応していないディスクの場合は、そのディスクが対応している言語の中から自動的に選択されます。この設定は停止中のみ可能です。	日本語	希望する言語を指定します。50	

<table>
<tr>
<td rowspan="12">プレーヤーセットアップ</td>
<td rowspan="4">オーディオ設定</td>
<td rowspan="2">⑤デジタル出力</td>
<td rowspan="2">本機のデジタル音声出力端子から出力する音声を変更できます。
DVDの音声には、DTSやドルビーデジタル（映画館で使用される立体的な音声、ドルビーデジタルはAC-3ともいいます）、MPEGオーディオ、LPCMがあります。
DTS/AC-3/MPEG2
DTSやドルビーデジタルやMPEGオーディオをそのままのデジタル信号で出力します。
LPCM
ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの信号で出力します。DTSは出力しません。
<table>
<tr><th>再生ディスク</th><th>DTS/AC-3/MPEG2
選択時の出力</th><th>「LPCM」
選択時の出力</th></tr>
<tr><td>48kHz､16ビットLPCM（DVD）</td><td>48kHz､16ビットLPCM</td><td>←</td></tr>
<tr><td>48kHz、20/24ビットLPCM（DVD）</td><td>48kHz､16ビットLPCM</td><td>←</td></tr>
<tr><td>96kHzLPCM（DVD）</td><td>48kHz､16ビットLPCM</td><td>←</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタル（DVD）</td><td>ドルビーデジタルビットストリーム</td><td>48kHz、16ビットLPCM</td></tr>
<tr><td>DTS（DVD）</td><td>DTSビットストリーム</td><td>出力なし</td></tr>
<tr><td>MPEGオーディオ（DVD）</td><td>MPEGビットストリーム</td><td>48kHz、16ビットLPCM</td></tr>
<tr><td>CD</td><td>44.1kHz、16ビットLPCM</td><td>←</td></tr>
<tr><td>ビデオCD</td><td>44.1kHz、16ビットLPCM</td><td>←</td></tr>
</table>
この設定は、停止中のみ可能です。</td>
<td rowspan="2">LPCM
通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプ、MD、DATなどのデジタル入力端子と接続する場合。</td>
<td>DTS/AC-3/MPEG2
それぞれの方式のデコーダーやデコーダー搭載アンプのデジタル入力端子と接続するとき。</td>
<td rowspan="4">画面2</td>
</tr>
<tr>
<td>オフ
デジタル出力は出力されません。
48kHz 20/24ビットLPCMのDVDと96kHz LPCMのDVDの音声を、高音質で音声出力端子から出力するときは、この設定にしてください。
デジタル出力の設定が「オフ」以外の時は、DVDの音声出力端子からの音声は、48kHz 16ビットにダウンサンプリングされて再生されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>⑥アナログ出力</td>
<td>プレーヤーの後面の5.1chをご使用の場合は、「5.1ch sub W.オン」を設定してください。サブウーハースピーカーが接続されていないときは、「5.1ch sub W.オフ」を選んでください。この機能は再生中は操作できません。</td>
<td>2ch</td>
<td>5.1ch</td>
</tr>
<tr>
<td>⑦スピーカー設定</td>
<td>アナログ出力を5.1chに設定したときに、スピーカー接続を設定することができます。</td>
<td colspan="2">設定画面に従って調整してください。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑧DRC（DVDのみ）</td>
<td>ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジコントロールのことです。お手持ちのステレオシステムやテレビで映画の中の会話などが聞きづらい場合、オンに設定します。</td>
<td>オフ
広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。</td>
<td>オン
ダイナミックレンジを圧縮します。DVDによっては効果のない場合があります。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="7">ビデオ設定</td>
<td>⑨TV出力設定</td>
<td>接続するテレビのアスペクト比を設定します。
この設定は、停止中のみ可能です。</td>
<td>4：3レターボックス
（通常のテレビ）</td>
<td>4：3パンスキャン
（通常のテレビ）
ワイドTV</td>
<td rowspan="7">画面3</td>
</tr>
<tr>
<td>⑩輝度/色合い</td>
<td>Yレベルは画面の明るさを、HUEは画面の色合いを調節します。リモコンの映像調整ボタンを押しても、調節画面が出ます。</td>
<td>中央</td>
<td>＋、－10段階に調節可能</td>
</tr>
<tr>
<td>⑪画質</td>
<td>映像出力端子から出力される映像の画質を変更できます。</td>
<td>ノーマル</td>
<td>シャープ
ソフト</td>
</tr>
<tr>
<td>⑫黒レベル調整</td>
<td>映像出力端子から出力される映像の黒色の画質を変更できます。</td>
<td>0 IRE
（少し暗い）</td>
<td>7.5 IRE
（明るい）</td>
</tr>
<tr>
<td>⑬背景ロゴ表示</td>
<td>セットアップ画面や停止中の背景を設定します。</td>
<td>オン（ロゴ）</td>
<td>オフ</td>
</tr>
<tr>
<td>⑭スクリーンセーバー</td>
<td>同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。スクリーンセーバーはいずれかの操作ボタンを押すと解除されます。</td>
<td>オン
スクリーンセーバーが機能する</td>
<td>オフ
スクリーンセーバーが機能しない</td>
</tr>
<tr>
<td>⑮一時停止画像</td>
<td>静止画再生中に画面が揺れる場合は､「フリッカーレス」にしてください。画面の揺れがおさまります。この設定は出力形式がNTSCまたはAUTOに設定され、DVDをNTSC形式で再生中のみ可能です。</td>
<td>オートセレクト</td>
<td>高精細
フリッカーレス</td>
</tr>
</table>

さまざまな設定を変更する(つづき) DVD VCD CD

プレーヤーセットアップ	その他の設定	⑯OSD表示位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、モード表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでもモード表示をみることができるようになります。	通常位置	オフ 下げる	画面3
		⑰表示窓の明るさ	表示窓の明るさを変更します。 →明るい→暗め→暗い→自動→	明るい	暗め 暗い 自動	
		⑱パレンタル設定（DVDのみ）47	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。 視聴制限コードが記録してあるディスクを再生する場合、視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。本機は、日本に対する視聴制限コードが記録されているディスクに対して機能しますので、ディスクによってはパレンタルレベルを変えてもパレンタルロックがかからない場合があります。パレンタルロックをかけると、視聴制限対応のＤＶＤを再生した場合、暴力シーンなどで子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの取扱説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとパレンタルレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。 この設定は、停止中のみ可能です。	初期状態はレベル8です。		

■ディスクメニュー言語を日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語など表示される22ヶ国語以外にするには、ディスクメニュー言語の選択画面で

1.▲▼ ボタン操作で その他▶ 0000 を選ぶ
2.言語一覧表 51 から希望する言語名に対応する番号を数字ボタンで4桁入力する
3.決定ボタンを押す

■設定を初期状態（工場出荷時）に戻す（この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。）

パレンタルレベルの暗証番号、セットアップ情報、しおり再生のメモリーなどのすべての設定を初期状態（工場出荷時）に戻すには、電源ONの状態で、本体のSTOPボタンを押しながらPOWER/STANDBYボタンを一度押して離し、STOPボタンはそのまま5秒ほど押しつづけてください。DVD、VCD、CD の点滅が点灯に変わります。その後いったん電源を切ってください。もう一度、電源を入れると初期状態になります。

言語一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7384	イタリア	8376	スロベニア
6566	アブハジア	7387	ヘブライ	8377	サモア
6570	アフリカーンス	7465	日本語	8378	ショナ
6577	アムハラ	7473	イディッシュ	8379	ソマリ
6582	アラビア	7487	ジャワ	8381	アルバニア
6583	アッサム	7565	グルジア	8382	セルビア
6588	アイマラ	7575	カザフ	8385	スンダ
6590	アゼルバイジャン	7576	グリーンランド	8386	スウェーデン
6665	バシキール	7577	カンボジア	8387	スワヒリ
6669	ベロルシア（白ロシア）	7578	カナダ	8465	タミル
6671	ブルガリア	7579	韓国（朝鮮）語	8469	テルグ
6672	ビハール	7583	カシミール	8471	タジク
6678	ベンガル（バングラ）	7585	クルド	8472	タイ
6679	チベット	7589	キルギス	8473	ティグリニア
6682	ブルターニュ	7665	ラテン	8475	トルクメン
6765	カタロニア	7678	リンガラ	8476	タガログ
6779	コルシカ	7679	ラオ	8479	トンガ
6783	チェコ	7684	リトアニア	8482	トルコ
6789	ウェールズ	7686	ラトビア（レット）	8484	タタール
6865	デンマーク	7771	マダガスカル	8487	トウイ
6869	ドイツ	7773	マオリ	8575	ウクライナ
6890	ブータン	7775	マケドニア	8582	ウルドゥー
6976	ギリシャ	7776	マラヤーラム	8590	ウズベク
6978	英語	7778	モンゴル	8673	ベトナム
6979	エスペラント	7779	モルダビア	8679	ヴェラピュック
6983	スペイン	7782	マラッタ	8779	ウォロフ
6984	エストニア	7783	マライ（マレー）	8872	コーサ
6985	バスク	7784	マルタ	8979	ヨルバ
7065	ペルシャ	7789	ミャンマー	9072	中国語
7073	フィンランド	7865	ナウル	9085	ズールー
7074	フィジー	7869	ネパール		
7079	フェロー	7876	オランダ		
7082	フランス	7879	ノルウェー		
7089	フリジア	7982	オーリヤ		
7165	アイルランド	8065	パンジャブ		
7168	（スコットランド）ゲール	8076	ポーランド		
7176	ガリチア	8083	パシュト		
7178	グアラニー	8084	ポルトガル		
7185	グジャラト	8185	ケチュア		
7265	ハウサ	8277	レトロマンス		
7273	ヒンディー	8279	ルーマニア		
7282	クロアチア	8285	ロシア		
7285	ハンガリー	8365	サンスクリット		
7289	アルメニア	8368	シンド		
7365	インターリングア	8372	セルボクロアチア		
7378	インドネシア	8373	シンハラ		
7383	アイスランド	8375	スロバキア		

故障かな？と思ったら

電源プラグがはずれていたりすると故障と間違えることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店、または「ご相談窓口一覧表」54 のご相談窓口にお問い合わせください。

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
電源が入らない	● 電源コードが正しく接続されていない。	17
映像がでない、映像が乱れる	● AVコードが正しく接続されていない。 ● ディスクに汚れ、傷がある。 ● 本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。	17 12
映像が途中で止まる 画面にブロック状のノイズが出ることがある	● 本機をテレビに直接接続してください。また、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピーガードの働きにより画像が乱れることがあります。 ● DVDディスクを再生中、1層目から2層目へ移るとき一瞬画面が止まることがあります。	17
音が出ない、雑音が多い	● AVコードが正しく接続されていない。 ● ディスクに汚れ、傷がある。 ● 一時停止、またはスロー再生、または高速再生になっている。 ● デジタル音声出力の設定が適切でない。	17 12 22 23 47
リモコンで操作できない	● リモコンと本体との距離が離れすぎている。 ● リモコン受信窓との角度がありすぎる。 ● リモコンの乾電池が消耗している。 ● リモコン受信窓に直射日光など強い光が当たっている。	14
DVDの映像をVTRに録画すると再生映像が乱れる	● 本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRに録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
再生できない （表示窓に「no play」または「no disc」と表示されたとき）	● ディスクが正しくセットされていない。 ● ディスクに汚れ、傷がある。 ● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● 本体の内部が結露している。 ● パレンタルロックがかかっている。 ● ディスクのリージョンコードが異なっている。	20 12 11 9 47 11
いろいろな再生ができない	● DVDではディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。ディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。	
再生中にトラックNo.や時間表示が乱れる	● 記録されているディスクによっては信号が正しく読み込めない場合があります。そのようなディスクを再生した場合、表示が乱れることがあります。	

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
DVDの字幕言語を変更できない	● 再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。	38
DVDの音声言語を変更できない	● 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。	39
DVDのアングルを変更できない	● 再生している場面に複数のアングルが記録されていない。	37
DVDを最初から再生できない	● 停止、再生すると最初から再生しないディスクもあります。メニューボタンやトップメニューボタンで操作してください。	26 27
メニュー画面が英語で表示される	● OSD表示言語の設定が適切でない。	48
ビデオCDのメニュー画面が表示されない	● PBC対応でないビデオCDを再生している。 ● PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。 ● PBCがオフになっている。	11 26

ご注意

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、本体のPOWER/STANDBYボタンを押してください。POWER/STANDBYボタンを押して20秒程待ってもSTANDBY状態（STANDBYインジケーターが赤、表示窓が全消灯）にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

リセットについて

本機が普通に操作できないときは、電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込んでください。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

修理ご相談窓口

北海道地区

担当地域	拠点名	所　在　地
北海道	札　幌	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
	旭　川	旭川市東光10条3-4-14
	北　見	北見市常盤町3-2-21
	釧　路	釧路市新橋大通1-1-5
	帯　広	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7
	小　樽	小樽市錦町5-12
	苫小牧	苫小牧市住吉町2-5-2
	室　蘭	室蘭市中島町3-14-13
	函　館	函館市亀田町7-12

東北地区

担当地域	拠点名	所　在　地
青森県	青　森	青森市青柳1-16-4
	む　つ	むつ市緑町17-56
	弘　前	弘前市外崎4-2-3
	八　戸	八戸市大字根城字白山平1-7
岩手県	岩　手	盛岡市東仙北1-12-12
	水　沢	水沢市東中通り2-4-38
宮城県	宮　城	仙台市宮城野区扇町3-2-9
	古　川	古川市古川字上古川150
	石　巻	桃生郡河南町鹿又道的前499-1
秋田県	秋　田	秋田市土崎港相染町字沖谷地151-1
	大　館	大館市御成町3-1-9
	県　南	大曲市福住町4-16
山形県	山　形	山形市蔵王松ヶ丘1-1-33
	庄　内	酒田市東町1-7-1
福島県	いわき	いわき市平塩字古川95
	福　島	福島市春日町14-33
	原　町	原町市栄町3-41
	郡　山	安達郡本宮町大字荒井字長山79
	会津若松	会津若松市西七日町6-15

関東・甲信越地区

担当地域	拠点名	所　在　地
東京都	北東京	足立区千住関屋町11-1
	西東京	豊島区西池袋4-23-11
	南東京	世田谷区三軒茶屋2-48-8
	三　鷹	三鷹市上連雀7-32-32
神奈川県	横　浜	横浜市戸塚区品濃町531-1
	川　崎	川崎市高津区上作延553-1
	厚　木	厚木市長谷260-27
埼玉県	大　宮	大宮市東大成町2-246
	越　谷	越谷市大杉458-3
	三　芳	入間郡三芳町上富1828-1
千葉県	千　葉	千葉市花見川区幕張町1-7681
	柏	柏市中央2-9-16
	船　橋	船橋市高瀬町62-10
	銚　子	銚子市唐子町21-3
	東　金	東金市福俵3-397
	木更津	木更津市潮浜1-17-29
	館　山	館山市八幡66-1
茨城県	水　戸	水戸市水府町1548
	日　立	日立市幸町2-2-10
	鹿　嶋	鹿嶋市神向寺大芝311-1
	土　浦	土浦市荒川沖字一里塚5-102
栃木県	宇都宮	宇都宮市御幸ヶ原町40-5
群馬県	伊勢崎	伊勢崎市連取町329-8
山梨県	山　梨	中巨摩郡田富町流通団地1-8-2
長野県	長　野	長野市南長池763-3
	松　本	松本市芳川村井町1280-1
新潟県	新　潟	新潟市紫竹山5-5-29
	佐　渡	佐渡郡金井町泉1031-6
	長　岡	長岡市東蔵王2-7-37
	上　越	上越市栄町6-4
静岡県（富士川以東）	沼　津	沼津市上香貫槇島町1354-2
静岡県（富士川以西）	静　岡	静岡市豊田3-6-27
	浜　松	浜松市篠ヶ瀬町1255

修理ご相談窓口

中部地区

担当地域	拠点名	所在地
愛知県	名古屋東 名古屋西 三　河 豊　橋	名古屋市守山区川宮町55 名古屋市中川区篠原橋通1-1 岡崎市大樹寺2-12-6 豊橋市東田町151-1
岐阜県	岐　阜 高　山 東　濃	岐阜市宇佐南2-3-8 高山市岡本町3-176 瑞浪市明世町山野内字沼305-1
三重県	北三重 南三重	四日市市羽津中2-1-6 度会郡玉城町佐田字銚子口1820-1
静岡県（富士川以東）	沼　津	沼津市上香貫槇島町1354-2
静岡県（富士川以西）	静　岡 浜　松	静岡市豊田3-6-27 浜松市篠ヶ瀬町1255
富山県	富　山	富山市向新庄857-1
石川県	石　川	石川郡野々市町堀内5-20
福井県	福　井	福井市高木中央1-1402

中国地区

担当地域	拠点名	所在地
鳥取県	鳥　取	鳥取市千代水3-106
島根県	山　陰 浜　田	松江市西津田2-2-5 浜田市下府町388-40
岡山県	岡　山 津　山	岡山市延友189-3 津山市小原109
広島県	広　島 備　後 呉	広島市西区観音新町1-7-17 福山市高西町川尻110-1 呉市阿賀中央3-1-7
山口県	山　口 東山口	吉敷郡小郡町大字上郷字仁保津下5220 下松市潮音町2-2-5

四国地区

担当地域	拠点名	所在地
徳島県	徳　島	徳島市応神町古川字日の上15-2
香川県	香　川	坂出市林田町4285-143
愛媛県	愛　媛 東　予	松山市内宮町2007 新居浜市萩生字岸ノ下1150-4
高知県	高　知	高知市朝倉西町2-5-5

関西地区

担当地域	拠点名	所在地
大阪府	京　阪 北大阪 阪　南	門真市大字岸和田1551 大阪市福島区海老江1-5-79 堺市鳳東町7-771
奈良県	奈　良	天理市二階堂上ノ庄町342-1
兵庫県	神　戸 西　神 姫　路 阪　神 豊　岡	神戸市東灘区甲南町1-3-8 神戸市西区平野町下村251 姫路市飾磨区構4-81 伊丹市昆陽3-254 豊岡市桜町15-15
京都府	京　都 福知山	京都市右京区西京極豆田町17 福知山市字掘1965-2
滋賀県	滋　賀 彦　根	大津市玉野浦2-1 彦根市川瀬馬場町1010-1
和歌山県	和歌山 田　辺 新　宮	和歌山市井ノ口543-1 田辺市稲成町字沖代80-2 新宮市下田2-3-12

九州・沖縄地区

担当地域	拠点名	所在地
福岡県	福　岡 北九州 久留米 大牟田	福岡市博多区諸岡3-21-28 北九州市小倉北区篠崎1-4-8 久留米市野中町1440-1 大牟田市天領町1-201
佐賀県	佐　賀 唐　津	佐賀市鍋島町大字八戸3181 唐津市町田1863-3
長崎県	長　崎 佐世保 五　島	西彼杵郡長与町高田郷1275-1 佐世保市山祇町329-4 福江市下大津町724-7
熊本県	熊　本 八　代 天　草	熊本市春竹町春竹500 八代市田中西町10-10 本渡市今釜新町3444
大分県	大　分 中　津 佐　伯	大分市豊海5-4-12 中津市大字下池永字北原564-1 佐伯市中村南町9-5
宮崎県	宮　崎 延　岡 都　城	宮崎市大字芳士589-1 延岡市旭ヶ丘6-1-24 都城市菖蒲原町24-2-5
鹿児島県	鹿児島 鹿　屋	鹿児島市宇宿2-8-2 鹿屋市新生町10-4
沖縄県	那　覇	那覇市字安謝620-187

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

地区お客様相談センター

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	（011）833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	（022）232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	（03）3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	（052）795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	（078）431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	（082）231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	（0877）47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	（092）281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

● ご相談窓口の名称・所在地等は変更することがありますのでご了承ください。

仕　様

一般	形名 ……DV-RP100 使用レーザー　……半導体レーザー：波長　650nm（DVD） 780nm（CD、VCD） 電源 ……AC100V、50/60Hz共用 消費電力 ……13W 質量 ……3.1kg 外形寸法 ……43.0(幅)×23.5(奥行)×6.6(高さ) cm 許容動作温度 ……＋5℃〜＋35℃ 許容動作湿度 ……15〜75%(結露のないこと)
S映像出力端子	Y出力レベル ……1Vp-p（75Ω） C出力レベル NTSC ……286mVp-p（75Ω） PAL ……300mVp-p（75Ω） 出力端子 ……S端子
映像出力端子	出力レベル ……1Vp-p（75Ω） 出力端子 ……USピンジャック
D1出力端子	Y出力レベル ……1Vp-p（75Ω） C_B出力レベル ……700mVp-p（75Ω） C_R出力レベル NTSC ……700mVp-p（75Ω） 出力端子 ……D1端子
コンポーネント映像出力端子	Y出力レベル ……1Vp-p（75Ω） C_B出力レベル NTSC ……700mVp-p（75Ω） PAL ……698mVp-p（75Ω） C_R出力レベル NTSC ……700mVp-p（75Ω） PAL ……698mVp-p（75Ω） 出力端子……ピンジャック
音声出力端子	音声出力レベル ……200mVrms（1kHz、−20dB） 2ch MIXED出力 ……1システム（ピンジャック×2） 5.1ch出力 ……1システム（ピンジャック×6） 音声特性
	周波数特性：CD　：4Hz〜20kHz（EIAJ/JEITA） DVD：4Hz〜22kHz（48kHz サンプリング） 4Hz〜44kHz（96kHz サンプリング）
	SN比：110dB ダイナミックレンジ：100dB 全高調波ひずみ率：0.003% ワウ・フラッター：測定限界（±0.001%W.PEAK）以下(EIAJ/JEITA)
その他の端子	光/同軸デジタル音声出力（DTS/AC-3/MPEG2 LPCM、オフ切換可） 同軸端子 ……1 光コネクター ……1
付属品	リモコン（DV-RM700J） ……1個 単3形乾電池 ……2個 AVコード ……1本 Sコード ……1本 電源コード ……1本

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用　語

■ドルビーデジタル（AC-3）
DVDに記録されている圧縮されたデジタル音声のひとつです。DVDには普通のステレオ音声をドルビーデジタルで記録したディスクや最大5チャンネルのサラウンド音声と低音専用チャンネルをドルビーデジタルで記録したディスクがあります。
本機では、サラウンド音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するほか、バーチャルサラウンドでも楽しめます。
本機のデジタル出力端子をドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■DTS（Digital Theater System）
DVDに記録される圧縮されたデジタル音声のひとつです。本機のデジタル出力端子を、DTSデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■LPCM（Pulse Code Modulation）
CDやDVDの圧縮されていないデジタル音声のことです。

■MPEGオーディオ
MPEG方式の圧縮により記録されたデジタル音声のことです。ビデオCDやDVDに使われています。

■タイトル
DVDに記録されている映像や曲の一番大きな単位のことです。それぞれのタイトルに付けられた番号のことをタイトル番号といい、このタイトル番号が記録されているディスクでは、タイトル番号を選んで再生するタイトルサーチなどの操作ができます。

■チャプター
DVDに記録されている映像や曲のタイトルより小さい単位のことです。それぞれのチャプターに付けられた番号のことをチャプター番号といい、このチャプター番号が記録されているディスクでは、チャプター番号を選んで再生するチャプターサーチなどの操作ができます。

■トラック
CDやビデオCDに記録されている映像や曲のことです。それぞれのトラックに付けられた番号のことをトラック番号といい、このトラック番号が記録されているディスクでは、トラック番号を選んで再生するトラックサーチなどの操作ができます。

■ビデオCD
VHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC）”対応のディスクがあります。

■プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC付きビデオCDに記憶されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

■高精細静止画
ビデオCDのなかに高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で楽しむことができます。

■スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。これを避けるため、スクリーンセーバーが用いられています。一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一箇所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

■マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですがすべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影した画像が記録されているものがあり、視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルといいます。

■アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

■パレンタルレベル
英語の綴りでは、PARENTALです。これは、PARENT（親、両親）からきています。これから解るように、親が子に見せたくない映像に制限がついているものです。

■字幕言語
映画などでおなじみの字幕言語です。DVDでは字幕の言語を最大32ヶ国分記録することができ、その中からお好みの言語を選んで楽しむことができます。

■リージョンコード
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている再生可能地域番号にプレーヤーの再生可能地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機の再生可能地域番号は2番です。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください）

修理を依頼されるときは（出張修理）

52 に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保　証　書（別添）	補修用性能部品の保有期間	ご不明な点や修理に関するご相談は
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー
形　名	DV-RP100
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　月　日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ!

DVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

愛情点検

このようなことはありませんか？

- ●電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ●画像が乱れたり、きれいに映らない。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

QR33211　　Printed in JAPAN 01-G（HE）